

Dolphin Rose

アニマルコミュニケーション の 教科書

動物ともっと仲良くなる方法



目次...

<u>第0章「プロローグ」</u>	…p. 2
<u>第1章「私とアニマルコミュニケーション」</u>	…p. 11
<u>第2章「ACがすぐ出来る人、出来ない人の違い」</u>	…p. 25
<u>第3章「ACをするために必要な土台って何？」</u>	…p. 35
<u>第4章「ACのテクニック（ツール）のいろいろ」</u>	…p. 46
<u>第5章「ACが出来るしくみ」</u>	…p. 57
<u>第6章「能力以外に必要なこと」</u>	…p. 69
<u>第7章「何から始めたらいい？」</u>	…p. 80
<u>第8章「質問の仕方」</u>	…p. 95
<u>第9章「ACのコツ（その1）」</u>	…p. 106
<u>第10章「ACのコツ（その2）」</u>	…p. 117
<u>第11章「ACをする上で注意したいこと（その1）」</u>	…p. 130
<u>第12章「ACをする上で注意したいこと（その2）」</u>	…p. 143
<u>第13章「ACを勉強中の方が抱える悩みと対策」</u>	…p. 156
<u>第14章「最後に…」</u>	…p. 167

Dolphin Rose

プロローグ



1. ごあいさつ

こんにちは。ゆうです。

この度は、「アニマルコミュニケーションE-BOOK」を読んでもらってありがとうございます。

最初に…

アニマルコミュニケーション…と書くと、とっても文章が長くなってしまうので、この講座ではアニマルコミュニケーションのことはこれからは「AC」と省略して書かせていただきますね。

今、あなたがこの講座を読んで下さっているということは

- ◆動物のことが大好き
- ◆動物とお話がしたい
- ◆ACに興味がある
- ◆ACについてもっと知りたい
- ◆ACを勉強したい
- ◆今、ACを勉強している
- ◆ACを勉強していたが挫折してしまった
- ◆実際に今、ACをしている

などなど当てはまるのではないのでしょうか？。

動物たちの純粋で健気で無条件の愛に溢れている魂の波動に触れることは、とても楽しく、そしてとても幸せなひとときです。

今、それぞれのお立場で読んで下さっていることと思いますが、この講座を読み終わる頃、皆さんのACへの理解がより深まっていればとっても嬉しいです。



この講座を読み進めていただくにあたって注意していただきたいことがあります。

この無料メール講座の内容について

今までの15年程の間に、私が学び、また自分で体感し、独自に分析した結果や理解したことを自分なりの解釈で書いています。

これを読み進められて行く上で、「その考えは受け入れたくない」という内容も出てくるかもしれませんが。

が、ここに書かれているすべてを受け入れる必要は全くありません。

読んでいて心地よいものだけをご自分に落とし込みながら、楽しく読み進められてみてくださいね。

そしてもし出来るなら、日にちが経ってから、もう一度読み直してみてください。
前回読まれた時には、スルーしていたものが急に腑に落ちたりすることがあるんです。

ぜひあなたにとって今この時に必要なものを、この講座から沢山吸収して行って下さいね。

2. 自己紹介

まずは私（ゆう）の簡単な自己紹介からさせていただきます。

1972年1月

私は福岡県飯塚市で産声をあげました。

小さいころから、生き物全てが大好きで、人間の友達と遊ぶより、地べたを這って、アリを追いかける方が好きな変わった女の子でした。

物心ついた頃、私の家には

犬

クサガメ

ミドリガメ

シマリス

セキセイインコ

十姉妹

うずら

ひめうずら

などを飼育していて、隣の猫とも大の仲良しでした。

裏に小さな庭があり、そこではコガネグモに餌をあげたり、カタツムリやヤスデ、ミミズなどを愛でながら日が暮れるまで、生き物を見て過ごす毎日を送っていました。

ただ、そんな恵まれた環境は小学1年生の1学期まで… そこから親の仕事の関係で高校を卒業するまで5回も転校を繰り返すことになるのです。

行く先々でいじめられたことで益々人間不信になり、動物たちに癒しを求めています。

・・・が、ペット不可の集合住宅に住むことが多かったため、エアーで架空の犬を飼っていたりするという、かなりいっちゃってる小学生でした(笑)

そんな私の小学生の頃からの夢は高校卒業まで一貫してずっと変わらず

「盲導犬の訓練士」

でした。

絶対自分になるものだと思いきっていたので、

点字の勉強をしたり、1日に数十キロ歩かなくては行けないと聞いたので、家から学校まで10km以上歩いてみたり、

盲導犬の訓練所にどのような勉強をしていけば良いのかお手紙を出したところA4用紙で5枚程の、達筆な毛筆で書かれたお返事をいただいたり・・・

福岡の訓練所に見学に行かせていただいたり・・・

結局はその夢は叶いませんでしたが今となっては良い思い出です。

高校を卒業後、東京に出て10数年

その間に結婚もして出産も経験しました。

そして、旦那のDVや離婚などしなくてもいい経験もしました。

当時5歳の息子連れて九州の実家に帰って来たのです。

その時に、2つのことを決意しました。

1つは「息子を立派に育てあげること」

そしてもう1つは「自分で自分を幸せにすること」

自分の好きなことワクワクすることって何だったっけ？

その時思い出したのは殺伐とした日常で遠い昔に忘れてしまっていた「動物たちへの愛」でした。

3. 私とACの出会い

私を幸せにしてくれるのは「動物」だ。

そう思った私は、前に何かのテレビで見た
幼少期アフリカで暮らしながら、沢山の動物と仲良しだった「ティッピー」ちゃんのことを思
い出します。

大きなアフリカゾウ

沢山のワニ

人間を2人も殺したヒョウ

そんな動物たちと仲良く出来る5-6歳の少女「ティッピー」

見てるだけで癒されると思ったので、まずはネットで調べて写真集を買いました。

『ティッピー野生のことば』

<http://amzn.to/2zG1eul>

この中で彼女は

「絵を描いたり、歌をうたうのと同じように、私は動物たちと話ができる。私は、
魂をつかって動物と話をする」

と語っています。

この本には、具体的な動物たちとの会話の仕方は書いてありませんが、動物たちと仲良く
している写真を見ているだけでも幸せな気持ちになることが出来ました。

ただ、すぐに「ティッピー」という名前を思い出せたわけではなかったので、ネットで検索の
際「動物」「話せる」「少女」などのワードで必死で探しました。

そんな時に、必ずひっかかって来たのが「**アニマルコミュニケーション**」という言葉でした。

気になって調べてみると、飼い主の代わりにペットと会話して通訳してくれる「**アニマルコミュニケーター**」と呼ばれる人たちがいることを知ります。

そしてその時、ものすごく昔、テレビでイギリスのアニマルコミュニケーターの女性の特集をやっていたことを思い出しました。

その番組は「世界まるみえテレビ」でした。

調べてみたら、1990年から番組が続いているんですね。

私が中学か高校の時に見たと記憶しています。

その時、あまりの興奮に心臓がバクバクして、頭が真っ白になった記憶があります。

番組の中ではACのセミナー風景が流れていて、
「誰でも練習すれば動物と話せるようになるんですよ」
とっていました。

ネットで検索して「アニマルコミュニケーション」というワードに引っかかった時、その時の記憶が鮮明に蘇ってきました。

そこからはもう狂ったようにAC関連のページを検索しまくる毎日(笑)

でも当時(15年くらい前)は日本語でのACの情報はとても少なかったのです。

第1章

私とアニマルコミュニケーション



1. ごあいさつ

- 私の自己紹介
- 私がACに出会うまで・・・

については、「プロローグ」にて書かせていただきました。

まだ読まれていないという方は、まずはそこから読まれてみてくださいね。
このE-BOOKを読む注意点も書かせていただいています。

1つお伝えしたいこと

このE-BOOKは、**「ACが出来るようになるためのE-BOOK」**になります。

「そもそもACとはどんなものか」

「ACの良い点、特徴」

などなどの ACの基礎的なことについては、触れておりません。

基礎的なことをお知りになりたい場合は、このE-BOOKと並行して、ネット検索や書籍などでお調べ下さいますようお願いします。

分からない場合は、ご質問も可能です。

2. レイキとの出会い

「動物と話せる人」をアニマルコミュニケーターと呼び、
「動物と話す」ことをアニマルコミュニケーションという。

このことを知って、数十年前に見たACを特集していたテレビを見たことを思い出した私は、
そこから狂ったようにネット検索を始めます。

そして、「アニマルコミュニケーター」という1冊の本に出会いました。

<http://amzn.to/2zPfMrm>

その中身は、ワクワク以外の何ものでもありませんでした。

そして、そこには「ACは誰にでも出来る」と書いてあったのです。

一方、私はバツイチ子持ちで実家に帰り、これからの人生絶対「幸せになる」と決めていた
ので、「幸せになる」ための方法も並行して探し始めていました。

そんな時、AC側での検索と「幸せ」探しからの検索とで同じキーワードにたどり着
きます。

それは「レイキ」というヒーリングエネルギーでした。

当時、日本にはアニマルコミュニケーターと名乗る方は2人しかいらっしゃいませんでした。

そのお二人ともがレイキの伝授を受けていること。

そして、ほとんどの海外のアニマルコミュニケーターの人もまた、レイキを伝授されていることを知ります。

「幸せ」探しの観点から、スピリチュアル系、自己啓発系に興味を持ち始めていたのですが、そちらサイドでも、「レイキ」というワードに辿り着きました。

両方から同じ答えに辿り着いたので、びっくりして鳥肌が立ったのを覚えています。

そして、それを発見した時の私は

「レイキさえ伝授してもらえばすぐに幸せもACも手に入れられる」
と勘違いしていました。

ただ、当時のレイキのお値段は、サードまで伝授を受けようと思ったら軽く2-30万円ほどかかる時代でした。

そのような中、必死で格安で伝授して下さるところを探し出し、何とか10万円ほどでレイキを伝授してもらったのでした。

※ACを習得する際に必ずレイキの伝授を受けていないといけないということではありません。

3. いざ勉強

レイキも無事に伝授してもらって、後は、ACのテクニックさえ知ることが出来れば動物と話すことが出来る。

意気揚々と関連書籍を調べまくる日々。

今でこそ、沢山のAC関連の本がありますが、その頃は毎日ネット上を検索しまくっても、ほんの数冊しか見つけることが出来ませんでした。

同居していた親の反対もあり、当時私は動物を飼えない状況でした。

ACは実際どうやったら良いのか分からなかったので、外にいる野生の鳥や、野良猫、近所の犬などに片っ端から

「こんにちは！」

と体中に力を入れながら、目に力を込めて話しかける日々を送っていました。

↑ ↑

良い子は絶対に真似しないでくださいね。

この行為はただ「念を飛ばしている」だけで、動物にとっては迷惑&恐怖でしかありません。

今は深く深く反省しております。

そんな時、格安で、しかも私が住む九州でACの講座が開かれることになりました。

日本で3人目に現れたアニマルコミュニケーターさんでした。

その方もやはりレイキをガッツリされている方で、きっと私も出来るようになると思い、ドキドキしながら講座を受けました。

実際、受けてみて講座の内容はとても画期的で面白かったです。

石から風景の情報を読み取ったり、
裏返しのトランプの色と数字を当ててみたり、
相手が想像している花や、果物を感じてみたり、
封筒に入っているペットさんの写真を開ける前に感じてみたり…

そして、私の苦手な瞑想もガッツリありました。

思った以上に出来た感じはしたのですが、
いざペットさんと話す…となった時、**それらの練習をどう生かして良いのかがさっぱり分からなくて、**何だか全然出来ている気がしない……。

お相手の方は、合っているようなことを言ってくれるけど、全然合っている実感がない。

そして、もっと問題だったのは習ったワーク全てが

「一人では不可能」

「協力者が必要」

ということでした。

生身の人間の友達が少ない私。

おまけに、数少ない友達にも「動物と話す」なんてとてもカミングアウト出来ませんでした。

それから、機会があれば色々な方のセミナーを受けるということを繰り返しましたが、
「アニマルコミュニケーターになりたい」という執着が強くなるだけで、一向に何も上達し
ない日々が続いたのです…

4. 挫折

数年間、そんな日々は続きました。

ACが出来るようになりたくて、なりたくて夢にまで見る始末。

動物と普通にすんなりと話すことが出来てあまりに嬉しくて
その興奮で夢から覚めて・・・

そして思い切り落胆する・・・

なんてこともしょっちゅうありました。

私は、離婚して子供を連れて実家に帰り、就職した際に、「4年でアニマルコミュニケーターになって独立する」と勝手に決めて信じ切っていました。

なので、就職したときに会社の人達に「4年で辞める」と宣言していたのです(笑)

4年も頑張って勉強すれば ACは出来るようになるだろうって本気で思っていたのです。

でもいざ勉強を始めてみて、どんどん月日は流れるのにACが出来るようになる気配すらしない。

そして、日本に3人ほどしかいなかったはずのアニマルコミュニケーターさんが次々に誕生して数が増えていくのを見て、だんだん焦りを感じ始めます。

それと並行して勉強していたスピリチュアル。

こちらは「絶対モノにしてやる」という執着が全くなかったせいか、何となく上達し始めます。

私のライフワークの1つ。

天使と知り合ったのもこのころでした。

当時は、元夫の残した借金の返済や、実家にお給料の半分以上を渡さなくてはいけない日々でAC関係や、スピ関係のセミナーを受ける時には「明日の息子のご飯をとるか、セミナーをとるか」という究極の選択でいつも頭を悩ませていました。

ま、そんな時は大概、セミナーを選んでしまっていましたけど・・・。

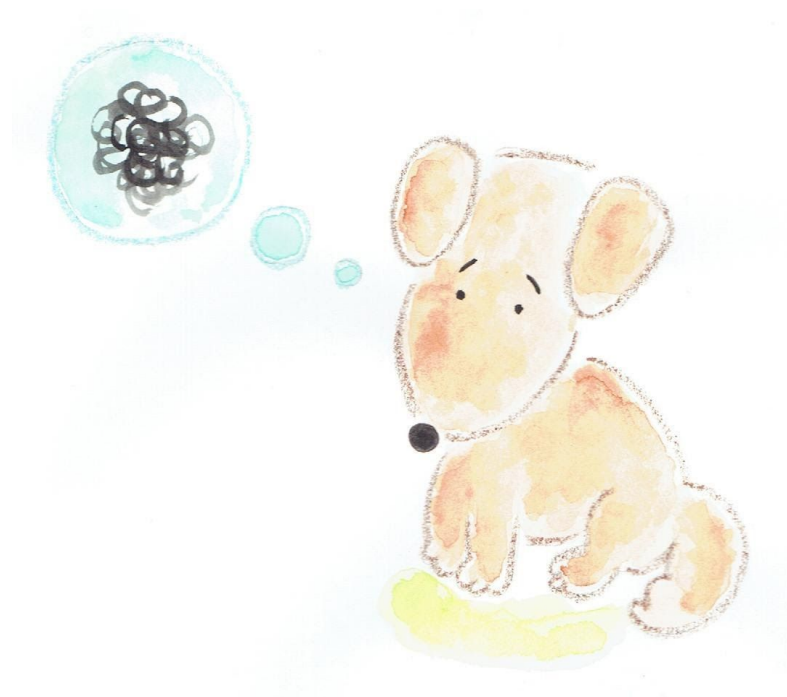
（ごめんよ、息子）

25万円するチャネリング教室を受ける時には、さすがに即決できず、3日3晩寝ずに悩み続けて、受けると決断した際も、清水の舞台から飛び降りる気持ちでした。

でも、今思えば、そのチャネリングこそがACと繋がる鍵だったのです。

スピの勉強が忙しくなっていく、

私はいつしかACのことを諦めるようになっていました。



5. 復活

スピの勉強が進む中、**シータヒーリング**というヒーリングに出会いました。

そして、このヒーリングのインストラクターとなったことで、会社を辞めて、独立することとなりました。

本当はこんなスムーズな流れではなく、会社員を辞める気なんて更々なかったのに、独立せざるを得ない状況に追い込まれたわけなのですが…

このお話はまた別の機会で・・・。

とにかくにも

バツイチ子持ちの状態でその気もないのに独立してしまった私は、お客様からお金を頂くからには、今までのような生ぬるい感じではいけないと、必死でスピの勉強をして、日々仕事に追われ、益々ACから遠ざかって行きました。

ただ、私にはもう一つ夢がありました。

それは「**犬と猫を飼うこと**」

本当は、そこに

ウサギ、モルモット、フェレット、そして、亀、トカゲ、魚、エビ…等々も飼いたいのですがとりあえず最初に「犬と猫」。

一緒に住んでいた父母が動物を飼うことを絶対に許してくれなかったのですが、将来犬猫が来た時に備えて、ペットマッサージの資格や、犬の介護セミナー、猫のセミナー、アロマ、栄養学、東洋学など勉強をしまくりました。

ある意味それが、ペットが飼えない私の唯一の楽しみになっていました。

そしてその勉強をきっかけにある動物の団体に所属することになったのですが、そこで沢山の犬たちに触れることが出来ました。

そこでふと気づいたのです。

私はその頃、**チャネリング**で天使や高次の存在と話せるようになっていました。

目に見えない高次の存在と話せるのなら、同じ方法で目の前の動物とも話せるのでは？

そこで、飼い主さんたちに了解を得て、ACを自分なりにやってみました。

きちんとACを試したのは、挫折以来2-3年ぶりでした。

その結果・・・

何か手ごたえを感じたのです。

6. お仕事へ

その後も、ペットや飼い主さんと触れる機会が増えて、それを利用してACの練習を2年程続けていたところ、それが認められてその団体が行う動物関係のイベントの依頼を受け、**お仕事としてACデビューすることになりました。**

イベントの当日は1日で30匹ほどのペットちゃんたちとお話することが出来ました。

ACの勉強を始めて、10年以上経ってから

そして手ごたえを感じて2年経ってからのことでした・・・。（長っ）

ここまで読まれて

「え！ACを習得するまでに10年もかかるの？」って思わないでくださいね。

私がそんなに時間がかかってしまったのには理由があります。

それは、以下の4つです。

1. 練習方法が分からなかったこと
2. ACの仕組みを理解していなかったこと
3. 執着が強すぎたこと
4. そのくせ、すぐに怠けたこと。

そして、この講座では1, 2, 3についてしっかりお伝えしていきますので安心してくださいね。

1, 2, 3の問題が解消されれば、4にはならないと思います。

多分…。

そして、何よりこんなに時間をかけて習得する人が今後出て来ないためにも
私はACの通信講座を作ったのです。

この講座は、

私のDolphinRoseでのAC通信講座を受ける際はもちろん、その他のACの講座を受けた
りお勉強される際に、挫折しないためにも必ずお役に立てると思っています。

ぜひ最後まで一緒にお勉強していきましょう。

第2章

ACがすぐ出来る人
出来ない人の違い



1. ごあいさつ

「ACは誰にでも出来ます」

ACを勉強してみようと思ってネットなどで調べられた方なら一度は聞いたことがあるのではないのでしょうか？

私も数年間、その言葉だけを頼りに勉強を続けていました。

ただ、その当時は「どうして誰にでも出来るのか？」について、詳しく教えてくれる人は誰もいませんでした。

「元々人間はテレパシーを使っていたから、その能力を思い出せば良い」

当時言われていたのは、確か、そのような説明だったと思います。

でも実際にACについて勉強したり、練習したりしてすぐにACが出来るようになる人は、ほんの一握りです。

今は、少し地球のエネルギーの波動が上がって来ていますので、もう少し多いかもしれませんが、それでも**全員が全員その場で出来るようになるわけではない**と思います。

セミナーを受けて、セミナー会場では出来ていたとしても、自宅に帰って一人でやってみたら「出来ているのか？いないのか？」分からなくなる方も多いことと思います。

それでは、そんな

『ACがすぐ出来る人、出来ない人の違い』は、何なのでしょう？

今日は、その理由を説明していきますね。

2. ACは本当に誰でも出来るの？

先程も書きましたが、世のコミュニケーターさんたちは口をそろえて

「ACは誰でも出来ますよ」

と言いますよね？

そして私も今ではそう思っています。

ではどうして、セミナージプシーを繰り返したり、AC の勉強自体を途中で諦めたりする人たちがいるのでしょうか？

それには次のような原因が考えられると思います。

1. 出来ている状態がそもそもどういうものか知らない
2. 的を絞って効率良く練習出来ていない

これらは、この無料講座で順序立てて説明していきますので
最終回まで読んでいただければ、解決出来ると思います。

ぜひ最後までお付き合い下さいね。

3. すぐに出来ない理由

ACのセミナーを受けた場合、

「すぐに出来るようになる人」と「出来るようにならない人」とに分かれます。

ほとんどの方は、すぐには出来るようになりません。

…が、すんなりと出来るようになる人がいるのも事実です。

では、この違いは何でしょうか？

ACが出来るようになるためには、まずは「土台作り」が必要になります。

ACの土台とは、

- スピリチュアルを受け入れる精神
- 安定した波動
- 集中力
- 自己肯定、自己受容

の4つになります。

この土台については次の章で詳しくご説明しますが、

すぐ出来るようになる人は実は上記の「土台の準備」が既に出来ている人たちなのです。

そして、もう1つ。

すぐに出来ない人の原因として

ACを「特別なことだと思っている」というのがあげられます。

ACを「特別な魔法」「摩訶不思議なファンタジーの世界」と捉えてしまうと中々出来るようになりません。

このE-BOOKを読み進めながら

「ACは摩訶不思議でも何でもない出来て当たり前のこと」

だとしてしっかり理解して、誤解を解いていただくと
大きく前進出来ると思います。



4. ACを習得するのに向いているのは どんな人？

冒頭で、ACは誰でも出来ると書きました。

…が、そうは言っても、個人差はやはりあります。

「ACを習得するのに向いている人」のタイプを以下に書いてみました。
ご自分に当てはまるものがあるかどうか一緒に見ていきましょう。

- ① 動物がとても大好き
- ② 過去の記憶や未来の起こりうる出来事をリアルに想像するのが得意
- ③ 日ごろからぼーっとするのが得意
- ④ 好奇心は旺盛な方だ
- ⑤ 演技をする時、役にのめり込める
- ⑥ スピリチュアルの知識や理解がある
- ⑦ 文章を書くのが得意
- ⑧ AC をする目的(軸) が明確である
- ⑨ 土台の準備が出来ている

それでは、1つ1つ説明していきますね。

1. 動物がとても好き

当たり前と言えば、当たり前なのですが、ACが出来るようになるためには「動物がとても大好き」という気持ちが必要になります。

ACでは相手を怖がらせないために動物に対して自分の「ハート」を開きます。

そして、お話をする個々の相手によって好き嫌いを感じることなく皆平等に「大好き」という気持ちが必要になります。

簡単に言うと、自分が「大好き」と思う子としか繋がってお話することが出来ません。

そうは言っても、お話する相手によっては、かわいいと思うことは出来ても、それ以上の好きという感情が出て来ない子もいたりします。

ただ、そんな時でも、対処法はありますので安心して下さいね。

これについての対処法に

ついては「第9章.ACのコツ」でお伝えしていきます。

2. 過去の記憶や未来の起こりうる出来事をリアルに想像するのが得意

スピリチュアルでは、ネガなことを考えることはご法度とされることが多いのですが、ここで言う過去の記憶や未来の出来事にはネガなものが含まれていてもOKです。

寧ろ、自分のリアルな想像で嫌な思いをしたり、不安になれたりするっていうのはある意味すごい才能です。

この才能はACにはとても役に立ちますよ。

ただ、土台の準備を進めて行くとネガなことを考えること自体が自然に減って来ると思います。

3. 日頃からぼーっとするのが得意

目を開けたまま、ぼけーっとして考え事をする瞬間ってありますよね？

これも、ACをする上ではとても大切な能力です。

ぼけーっとしている、正にその状態、感覚で動物と繋がっていきます。

4. 好奇心は旺盛な方だ

ACをする上で最も必要なのがこの「好奇心」になります。

何にでも「興味を持つ」ということがとても大切になってきます。

日ごろから「どうして？」「なぜ？」「どうなってるの？」と思っている人は有利です
(*^-^*)

5. 演技をするとき、役にのめり込める

ACでは時には「自分を騙す」ということも必要になってきます。

そんな時、演技が上手な人、演技にのめり込める人、その役になりきれ人とはとても向いていますね。

6. スピリチュアルの知識や理解がある

ACは摩訶不思議な能力ではありませんが、スピリチュアルへの理解は必要です。

そして、スピリチュアルもまた摩訶不思議なものではありません。

「スピって不思議でも何でもなくて、当たり前よね」って思える人は習得が速いと思います。

7. 文章を書くのが得意

ACは、言葉だけで話すわけではないということは、聞いたことがあるかと思います。

体感やイメージなどで受け取ったものを言葉に直す作業が、実はとても難しいのです。

日ごろから自分の中で感じていることを文章で表すのが得意な方は、ACを学ぶ上で有利になってきます。

8. ACをする目的（軸）が明確である

そもそもどうしてACを習得したいのか？

また、「ゆくゆくはお友達のペットさんともお話したい」「将来的にお仕事として考えている」など、その意志や目的がはっきりしていればしているほど、ACの習得のスピードは速くなります。

9. 土台の準備が出来ている

これに関しては、ACにとっては一番重要で不可欠なものになりますので、次回たっぷりと詳しくお話していきますね。

いかがでしたか？

いくつご自分に当てはまりましたでしょうか？

でも、万が一 1つも該当しなかったとしても悲観しないでくださいね。

例え 1つも該当しなかった人でも、ACを習得するためのコツなど、次回からしっかりお伝えしていきますので安心して下さい。

そしてピンポイントでそこを意識して練習していけば良いのです。

第3章

ACをするために
必要な土台って何？



1. ごあいさつ

第2章では、ACをすぐに出来るようになる人は「土台の準備が出来ている人」だとお伝えしました。

ご本人に自覚がなくても無意識のうちに、土台の準備が出来ている人がいます。

でも、逆にこの土台の存在さえ知っていれば、**自分で意識的に土台を作り、ACをするための準備を整えることが可能です。**

前にもご説明したように、私はとにかくAC関係のセミナーを受けまくっていた時期がありました。

そうすると、必ず毎回いたんです。

「すぐに出来るようになる人」が…

当時は、ただただ指をくわえてその人を羨ましがるだけでしたが、その人たちと、自分との違いは何だろう？と興味が湧き、分析していった結果、この「**土台**」の存在に気づいたのです。

今日はそんな土台のお話をしていきたいと思います。

ACに必要な土台は以下の4つのものから成り立っています。

1. スピリチュアルを受け入れる
2. 波動を安定させる
3. 集中力
4. 自己肯定・自己受容

それでは1つ1つ見ていきましょう。

2. スピリチュアルを受け入れる

私の場合、偶然ACと並行してスピリチュアルを深く勉強するという状態になったわけですが、**スピリチュアルへの理解が深まれば、深まるほどACを習得するには有利**になります。

…と今は言っていますが、
当時の私は出来ればスピとACは「別物」と思いたかったタイプです。

それは、スピに対して「大きな誤解」があったからでした。

当時スピリチュアルに対して私が思い描いていたのは「メルヘンでキラキラ、ふわふわお花畑」という思い込みでした。

目に見えない別次元の「天使」と、一緒にこの世で生きていて姿かたちが見えて触れることが出来る「動物」と、コミュニケーションの方法が一緒だなんて思いたくなかったんです。

リアルに自覚したまま繋がりたいという思いが強かったんだと思います。

ただ、気づけばそんな偏見を持っていたスピリチュアルをどっぷり学んだ上に、今ではお仕事にまでさせていただいております。
人生どこでどうなるか分かりませんね。

ただ、後から分かったことですが、私がACを習得する上で、このスピリチュアルの学びや理解は必要不可欠のものだったのです。

「でも、今までスピリチュアルなんて勉強したことないんだけど…」という方もいらっしゃると思います。

そんな方は、まずは「自己啓発系」や「引き寄せ系」などから入られると、抵抗がないかもしれません。

あと、「この世の仕組み」を学ばれると理解が更に深まると思います。

これからACのお勉強をされる方はぜひ

エネルギーや量子力学などスピリチュアルについても並行して学ばれて行くことを強くお勧めします。

15年学んで来て分かったことはスピリチュアルは「**幸せになるための哲学**」だということです。

今はまだ科学の進歩が追いついていませんが、いつかすべてが解明されるときが来るでしょう。

実際、スピの勉強を始めて私の人生は180度変わりました。

宣伝になってしまいますが、

「天使にも抵抗ないよ」

「霊さんにも興味がある」

という方は、ぜひこちらの無料メール講座も読まれてみて下さいね。

【天使と仲良くなるための無料メール講座】

<https://www.reservestock.jp/subscribe/62763>

【幽霊が怖くなくなる無料メール講座】

<https://www.reservestock.jp/subscribe/40640>

あとは、週に2回発行している私のメルマガのバックナンバーを過去に遡って色々読み漁っていただくと「ACに必要なスピリチュアルってこんな感じ」というのが分かっていただけだと思います。

一ペットから天使まで一ゆいの DolphinRose 通信

<https://www.reservestock.jp/subscribe/29265>

3. 波動を安定させる

皆さんは「波動」という言葉を聞いたことがありますか？

「波動」とはその名の通り「波」が動いていることを指します。

この世の物質は、全て振動している…ということを、どこかで聞いたことがあるのではないのでしょうか？

この振動のことを「波動」と言います。

そして、私たちの精神もまた波動で出来ています。

この振動の速さが速ければ「波動が高い」

振動の速さが遅ければ「波動が低い」

という言い方をします。

もちろん波動が「高い」に越したことはありませんが、**ACをする際は、波動の高さよりも「安定」**が求められます。

波動が日ごろから安定すると「運」が良くなってきて、物事がスムーズに滞りなく進んで行くようになりますし、良い偶然が重なる「シンクロ現象」も増えて来ます。

日ごろの気持ちの浮き沈みが激しい方は、意識して安定させていくと良いでしょう。

・・・と言っても、波動は意識ですぐにコントロールできるものではありません。

意識を向けることで、間接的に少しずつ高くしたり、安定させたりすることが出来ますので、波動に働きかけるには少し時間がかかると思っていてくださいね。

究極に波動が安定した状態を「ニュートラル」または「中庸」と呼びます。

私も最近でこそ、このニュートラルになる時間が増えて来ましたが、とても24時間この状態
でいることは出来ません。

ニュートラルの状態にいる時には、物事に動じない安心感や安定感、そして全てを受け入れ
られるという感覚になります。

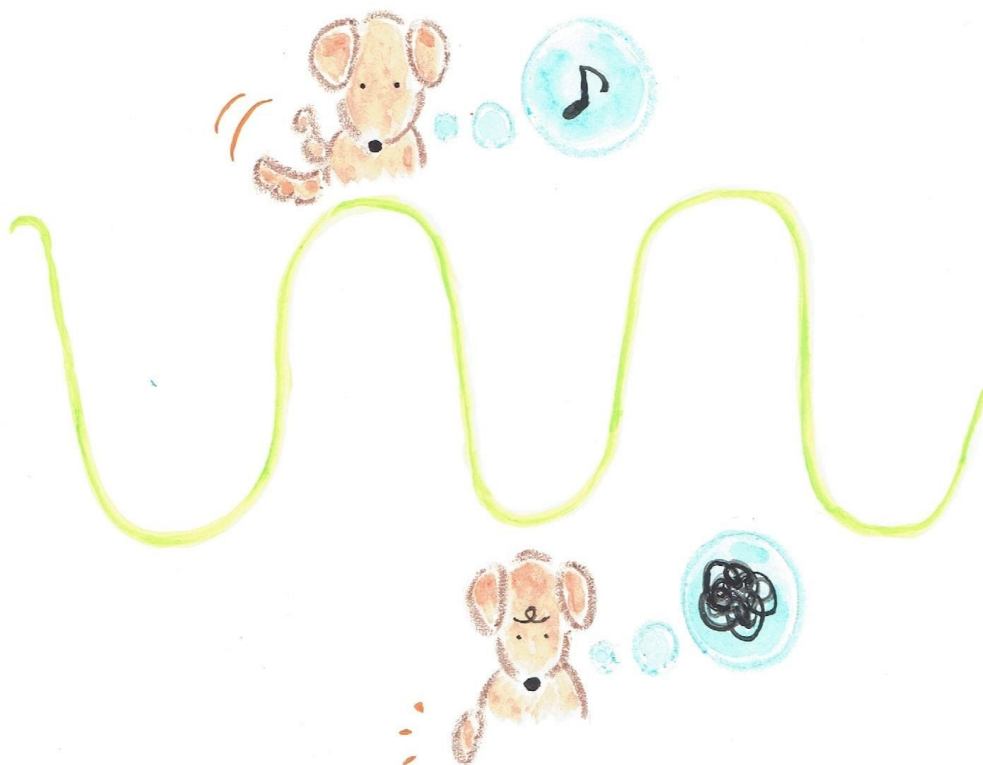
ただし、ACをする際にはこのニュートラルな状態にまで行かなくても大丈夫です。

波動を安定させるための第一歩は「自分の状態に気づく」ことです。

「あ、今私動揺している」

「あ、今私怒っている」

など、客観的に自分を見られる「目」を作しましょう。



4. 集中力

ACで動物に繋がる瞬間に一番必要なのがこの「集中力」です。

そして、この集中力は長時間保つ必要はなく、「一瞬」で大丈夫です。
ただ、この「一瞬」にどれだけ「集中」出来るかがカギになってきます。

そして、例えば

- 周りが賑やか
- 飼い主さんが目の前にいる
- 沢山の人に見られている

など、どんな状態の時でも瞬時に「集中」出来るようにする練習が必要になります。

5. 自己肯定・自己受容

ACに必要な土台、最後は「自己肯定・自己受容」になります。

土台の大部分の大切なところを占めているのがこの「**自己肯定・自己受容**」です。

これに関して説明をしようと思ったら、もう1つ無料講座が出来上がってしまうくらい膨大な量になってしまうので、今回は簡単に説明しますね。

一言で言うと

【自己肯定】は自分を肯定すること

【自己受容】は自分を受け入れること

になります。

書いてみれば、めちゃめちゃ簡単に書けますが、
実際その通りにしようとしたら、それはそれは難しいのです。

私もこれに関しては15年以上取り組んでいますが、未だにゴールが見えません(笑)

自分の意志でコントロールできるものではないのです。

もう少し説明しますね。

自己肯定に関して「自分を好きになること」と誤解している方が時々いらっしゃいます。

そして、「自分は優れている」「自分ってすごい」と思うことだと勘違いしている方も見かけます。

実は、これはどちらも自己肯定ではありません。

この場合、自分の「一部」だけを肯定しています。
自己肯定とは**自分のすべてを肯定すること**です。

そして「肯定」は「YES」とは違います。

「それもアリだよね」と認める感じだと思ってください。

感覚で言えば何か失敗をしてしまった時

「全くもうしょうがないなぁ…」

「こんな自分でも、ま、いっか。」

いつもドジばかりするけれどなぜか憎めない友達みたいな・・・

そういう感じになればOKだと思ってください。

「どんな自分でも受け入れられる」ということがポイントになります。

では、自己肯定を高めるためには具体的にはどうしたら良いのでしょうか？

簡単な方法としては、「**自分にベクトルを向ける**」です。

人間はどうしても、自分が見ている世界

要するに「外」の人や環境に目を向けがちです。

ACをお勉強される皆さんは、ぜひこれからは「自分」を見るように、そして「感じる」ようにしてみてください。

最初のうちは意識していないとすぐに意識の矢印は外側を向いてしまいます。
客観的に自分を観ることが出来る「目」を持つことが大切です。

この客観視できる「目」は自分で日々育てていく必要があります。

出来るだけ

良い、悪いなど「ジャッジ」せず、ただ起きていることを受け入れる…
そんな「目」に育てていきます。

最終的な目標は「本当の自分と繋がる」ことです。

…が、とりあえず最初のうちは

「あ、私今怒ってる」

「あ、私今悲しんでる」

と、気づく練習をして**洗濯機のような感情の渦に巻き込まれない自分**を育てていきましょう。

第4章

ACのテクニック(ツール)の いろいろ



1. ごあいさつ

第4章では、『ACのテクニック（ツール）のいろいろ』について説明していきますね。

一言でACと言っても、動物たちとコミュニケーションする際には人間同士で行う「**言葉だけを使った会話**」のようにスムーズにはいきません。

一見外から見ただけでは分かりにくいのですが、
ACは**実は沢山のテクニックやツールを同時に使って**行っています。

例えばテレビのハイジさんが、動物をじーっと見てフリーズしているシーンを見たことがあると思います。

あの時、ただ静止しているように見えますが、実際にはハイジさんの中では色々なことが沢山行われているのです。

ただ、テレビなので、編集して放送されますのでフリーズの時間も実際はもっと長いかもしれません。

そしてコミュニケーターさんによって、
それぞれに得意なテクニック不得意なテクニックが存在したりします。

この講座を読まれている皆さんは、これからAC関係のたくさんのツールやテクニックを学ばれていくことになると思いますが、ACが**上達するコツは自分にぴったりのテクニックを一つでも多く見つけてそれを極めていくことだ**と思います。

また、場面場面で臨機応変にそれぞれの状態に合ったテクニックを使い分けられると更にレベルアップしていくことでしょう。

今日はそんなテクニックの中から一部を、そして、DolphinRoseで習得することができるものも含めて、いくつかご紹介していきたいと思います。

2. 瞑想法

これは、ACを勉強する上で一番世間に知られている方法だと思います。

別名を「**サンクチュアリ法**」と言います。

『瞑想をしながら自分の中に深く入っていき、奥底の安定した場所で動物を呼び出し、そこで会話をする』 というものです。

この状態では、言葉での会話をすることも可能で**瞑想が得意な方にはオススメな方法**です。

道具などを使う必要がなく、いつでもどこでも出来るというメリットがあります。

ただし、会話ができるほどの状態にするためには、**毎回深い瞑想状態に入らなくては行けない**ので、最初のうちは体感を掴むために沢山の練習が必要です。

また、しっかりとその子の体の形や色柄などを覚えた上で、**目を閉じて行わなくては行けない**という点と、直接話しているような臨場感がないため**モチベーションが続かない**というデメリットもあります。

対面式で行なわれているセミナーはほとんどがこの瞑想法をお伝えしていると思います。そしてその場で実際にACを体験することが出来ます。

実際に誘導を体験してみたい方は、私の誘導音源で良ければ下記URLからダウンロードして聞いて実践してみてください。

<http://yahoo.jp/box/Qwtlhd>

3. ヒプノを使った方法

皆さんはヒプノセラピーという言葉を知っていましたか？

誘導催眠状態で行う心理療法の一種

なのですが、このヒプノを使ってACを行うという方法があります。

催眠状態でたどり着く場所は、先ほどご紹介した瞑想法の場所（サンクチュアリ）に似ています。

瞑想法と同じく目を閉じて行うことが多く、集中力が必要になります。

この方法でコミュニケーションされたい場合は、まずはヒプノセラピーをしっかりと学習するとコツがつかみやすいと思います。

またAC専用のCD付Bookも出版されています。

【犬と話せるようになるCDブッケーヒプノセラピーでできるアニマル・コミュニケーションー】

<http://amzn.to/2zP8kx2>

猫バージョンはこちら↓↓

<http://amzn.to/2iMzhXg>

4. エリクソン催眠

こちら誘導催眠の一種になります。

飼い主さんに直接誘導瞑想をする方法と、コミュニケーターが催眠状態に入る方法との二通りがあります。

こちらやはり目を閉じて行うことが多いのと、エリクソン催眠について深く学ぶ必要があります。

以前はAC専門でセミナーが行われていましたが、現在は開催されていないようです。

5. 道具を使う方法

今までご紹介した方法は、特に何も使わずに「身一つ」で行うことができましたが、これからご紹介する二つの方法は道具を使って行います。

道具を使う利点は、極度な集中力を必要としないところです。

自分の思い込みなのか、きちんと受け取れているのか、迷う部分が道具を使うことによって軽減されます。

1. ペンデュラム

ペンデュラムとは振り子を使って答えを導き出していく道具です。

先の尖った天然石や金属などのおもりの振り子を使って行います。

YES、NOを聞いたり、何かを特定する時にはとても便利です。

私も時々ACにペンデュラムを使うことがあるのですが、

それは主に**体の不調や病気の原因などを探るとき、また、ヒーリングで体のどこに働きかけたら良いかを見つける時や、自分がリーディングした内容の答え合わせをする時**にも良く使います。

ペンデュラムは0リングなどのように、筋肉反射を使ったワークの仲間で、習得しておいて損はないと思います。

2. カード（オラクルカードなど）

カードといえば占いを想像しがちですが、ACにも使うことができます。

DolphinRoseでも、AC通信講座のレッスンの中でオラクルカードを練習していただく回があります。

それは

ACをする際の右脳の使い方が、カードをリーディングしている時の右脳の使い方ととても似ているので感覚を掴んでもらうための練習にはピッタリなんです。

カードは右脳開発するためにはとても便利な道具の1つです。

左脳を騙しながら、右脳全開に出来るツールなので、
右脳全開の感覚を掴むにはとても有効だと思います。

6. DolphinRoseのAC講座でお伝えするテクニックや技法

それでは、これから先は DolphinRoseのAC通信講座で実際にお伝えする方法をご紹介しますね。

1. リンクする

相手の体の波動を自分の体に転写する方法を学んでいただきます。

動物たちが感じている痛みや痒み、感情などを
五感を通して自分自身に感じることができるようになる方法です。

言葉で会話するよりも時間をかけずに瞬時にたくさんの情報を得ることができます。

テレビで活躍されているハイジさんがこの方法をよく使っているのを目にします。

「〇〇な感情が伝わって来たわ」

「〇〇な感覚を感じるわ」

など、言われている時にはリンクしていますので、今度テレビを見られる際は意識して見てみてください。

2. リーディング

相手の情報を読み取る方法です。

透視に少し似ていますが、もう少し普段日常生活でも使っている感覚の部分を使います。

自分が興味を持った部分だけをリーディングすることができます。

逆を返すと、**自分が興味を持っていないところは読み取ることが出来ません。**

あらゆる可能性を考えて、色々な角度から読み取っていくことが大切になります。

3. チャネリング法

相手のチャンネル（周波数）に直接繋がって会話をする方法です。

目を開けたまま行うことが多く、直接会話をしているというモチベーションを保つことができます。

繋がりは始めは感覚や視覚を使ってコミュニケーションをしますが、**深くつながれば言葉での会話も可能**です。

チャネリングをする際は、無防備になるので危険を伴うこともありますが、**DolphinRoseでは安全第一をモットーに、より安全に繋がる方法をお伝えしておりますので安心して下さい**ね。

いかがでしたでしょうか？

今回ご紹介したのは、動物に繋がってコミュニケーションをするための色々なテクニックの中のほんの一部になります。

実際には1つだけではなく、これら複数のテクニックを同時に組み合わせて行います。

ぜひこれから色々な方法を学ばれて、一つでも多くご自分に合ったテクニックを見つけていただきたいと思います。

第5章

ACが出来るしくみ



1. ごあいさつ

第5章では、『ACが出来るしくみ』についてご説明していきますね。

まず最初にお伝えしておきたいのは

アニマルコミュニケーションとは「摩訶不思議な能力」ではありません。

ということ。

そこには、コミュニケーションが成立する「**仕組み**」というものがちゃんと存在します。

漠然と「何か凄いもの」を習得する・・・という気持ちで練習に臨むと、簡単に出来るものも出来なくなってしまうです。

ACが出来るからくりが分かっていると、「こうやったら、この後こうなるのよね…」と次に起こることを予測することも出来ますし、

自分に何が起きているのかも分かるので、やみくもに漠然と取り組むのではなく、**心の中が整理された状態で効率よく練習**をすることが出来ます。

- **自分が今、何のために**
- **どのような行為を行っているのか？**
- **どのテクニックや能力を使っているのか**

これらを知っている、自覚しているということがACを行う上でとても大切なことなのです。

例えば自販機でジュースを買う時…

- ① お金の投入口にお金を入れて
- ② 買いたいジュースのボタンを押して
- ③ 落ちて来たジュースを取り出し口から取り出す…

その1つ1つの行為を何のためにするのか、理由も分かった上でやっていますよね？

お金を入れていないのに「どうしてジュースが出て来ないんだろう？」って思ったり、逆にお金を入れてボタンを押して「どうして飲みたいジュースがちゃんと出てくるの？」って不思議がったりしませんよね。

私たちは「お金を入れないとジュースが出てこない」ことも知っていますし、「飲みたいジュースのボタンを押したら飲みたいジュースが出てくる」ことも知っています。

ACのテクニックを使う時、その手順1つ1つが

- どうしてそのような行為をするのか？
- 何のためにそれをするのか？
- それによってどんな効果があるのか？

分かっているのと、いないのとでは、その後の結果が全然違うのです。

自分の中で仕組みを理解することは「**練習の効率を上げる**」ことにも繋がります。

漠然と多方面に力を分散せず、目標を定めて「ピンポイント」で一か所に集中して、力を入れることも可能になります。

皆さんはACの仕組みを知っていますか？

今日はその中でも、一番大切な「右脳と左脳」のバランスについてお話しますね。

2. 右脳・左脳のお話

私たちの脳は、「脳梁（のうりょう）」を真ん中にして「右脳」と「左脳」の2つに分かれているということは既にご存知だと思います。

役割としては一般的に言われているのは

【右脳】

直感力、音楽力、図形力、全体を見渡す力、空間認知力に優れている。
五感で感じた感覚・感性を直感的・総合的に認識することが出来ます。

【左脳】

言語力、論理的に考える力、計算力、物事の分析力に優れている。
思考や論理を司る人間的な脳と言われています。

こうやって見てみると、

- ・ 右脳は本能的な役割
- ・ 左脳は人間的な役割

とも言えそうですね。

ACをする際に、働いてもらう率が高いのは「右脳」になります。

割合としては、**右脳：左脳=7：3**くらいだと思ってください。

ここで、余談ですが、DolphinRoseでは、天使とのチャネリングの講座もあります。

では、天使と話す時の割合は？というと**右脳：左脳=9：1**くらいなんです。

動物相手のACの場合は、天使の時よりも、左脳が起きていなくてはいけないということになります。

7：3と9：1とどちらが簡単かと言うと、実は「9：1」なのです。

ほぼ右脳全開にすれば良いので、左脳を黙らせるだけで済むからです。

一方、ACは

右脳を一度全開にしつつも、同時に少しずつ左脳を起こしていかなくてはいけません。

ACを難しいと感じている人はこの辺りのバランス加減や、左脳の起こし方、もしくは右脳の開き方に難しさを感じているのかもしれませんね。

右脳：左脳=7：3にするためには、数字の割合だけ見てみるといつもより少し右脳を増やして、いつもより少し左脳を減らせばいけそうな気がしますが、これは私の勝手な憶測ですが、**普段の実生活での右脳左脳の割合は「2：8」くらいなのではないでしょうか？**

そして左脳は思考を司っていますのでいつも右脳優勢に過ごしている人は本当に稀だと思います。

赤ちゃんや小さい子は右脳が優勢だと言われています。

本能のままに生きている時代ですね。

私たちは理性や言語機能がないと生活出来ませんので、どうしても左脳を多く使って生活しています。

ACをする際は、普段の生活とは全く違うことをしなくてはいけないというのが、なんとなくお分かりいただけますでしょうか？

ACをするということは、今、自覚しているこの状態を一旦手放すということになるので、自分が感じ取ったことをリアルに感じられないので人によっては恐れを伴うのです。

右脳は五感を感じるのが得意とご説明しましたが、実は人間には五感の他に第六感も存在します。

インスピレーションとも靈感とも言われる部分です。

ACをする際は、この第六感も必要になります。

ここまで読まれて不安になった方がおられるかもしれませんが、安心してください。
五感と同じように、第六感も誰でも感じる事が出来るからです。

普段無意識に受け取ったり、そもそも感じているけれども無視したりしているので、気づいていないだけです。

五感もそうですよね？

朝、目が覚めて「うわ、私目が見えてる！」とか、
「今日も音が聞こえる！」とか、
「食べ物の味が分かる！」など、
一々驚きません。

何故なら五感は「**当たり前**」の感覚だからです。

第六感も一緒。

実際に第六感を感じられるようになった時には「当たり前」という感覚になっているので「わ、私今第六感を使ってる！」と気づいたり、驚いたりするものではないのです。

ただ…先程も説明しましたように普段私達は右脳を使っている割合が少ないので、必然的に第六感を使っている割合もとても小さいのです。

ここは意識的に、**筋トレのように鍛えていくことが必要**だと知っておいて下さいね。

ACをする上で、厄介な存在。

それは「左脳」です。

左脳は「右脳」が優位に立つと人間界でまともに生きていけない為、右脳が優位にならないよう常に監視しています。

ちょっと変わったことを右脳で感じたら「頭がおかしい人になっちゃう」と、元に戻そうとします。

「動物と話せるなんてこと出来るわけがない」

「他の人に出来ても私には出来るはずがない」

もし飼い主さんから「その通りです。合ってます。」と言われたとしても

「今回はまぐれに違いない。」

「次からはもう出来ないに違いない。」

そしてやっている最中に何か受け取っても「これはきっと私の想像に違いない。」などなど、**左脳はとにかく「自分を疑います」**

でもこれは私たちが人間界で普通に生きていくためにはどうしても必要な機能です。

もし、ここが壊れてしまったら、かなりメルヘンな世界で暮らすことになってしまいます。

そこで左脳に邪魔されないために、左脳と仲良くする…つまり、**左脳に協力してもらう必要がある**のです。

左脳の悪口ばかりを書いてしまいましたが、**左脳はACをする上ではとても必要な存在**です。

ここでもう一度右脳と左脳の割合を思い出して欲しいのですが、

天使は9：1で良いのに、ACは7：3

天使と繋がる時より、左脳を3倍働かせていないといけないのです。

左脳は「言語」「記憶」「分析」「論理」などを司っています。

この中で、ACでは、動物から感じ取った感覚を「言葉」に直します。

そして、動物への質問を考える時に「分析」や「記憶」を使います。

問題行動などを解決する際には「記憶」「分析」「論理」を駆使します。

私は、ACは100%動物側の味方につく「弁護士」だと思っています。

（↑これはあくまで私個人の感覚です）

ACはただ動物たちから感じたことを伝えるだけではなく、

- 出来るだけ動物側の有利になるよう、そして動物側の要望が通るよう、言葉を選んだり
- 今までの自他問わず数々の例を参考にしたり
- 学んで来た動物の知識を思い出したりしながら検討したり

そして、分析、論理なども使って、飼い主さん側にお伝えしていくのです。

左脳が ACにとっていかに必要不可欠かということがお分かりいただけたと思います。

それから左脳の名誉のためにもう一つ

実は左脳は妄想が暴走しないための「ストッパー」の役目を果たしています。

ACを練習していて一番怖いのは自分の妄想の暴走です。

左脳の「ちょっと待って。これ本当は自分の想像じゃない？」というストッパーがなかったら、自分の好き勝手な想像をべらべらと飼い主さんに伝えることになってしまいます。

左脳の声を過度に気にして臆病になるもの良くありませんが、左脳の疑いの声に耳を傾けることはとても大切なことなのです。

では、右脳、左脳をバランスよくどちらも起こしておくためにはどうしたら良いでしょうか？

それには、一度右脳を全開にして左脳には「邪魔」ではなく**必要な部分だけ「協力」をしてもらえば良い**のです。

左脳は仕事を与えないと暇なので「ああでもない」「こうでもない」とすぐに否定モードに入ってしまいます。

そうならないためには、左脳が暇だと感じる前に「興味」を持ってもらいます。

左脳は一旦「興味」を持つとどんどん集中していきます。

「ここはどうなっているんだろう？」

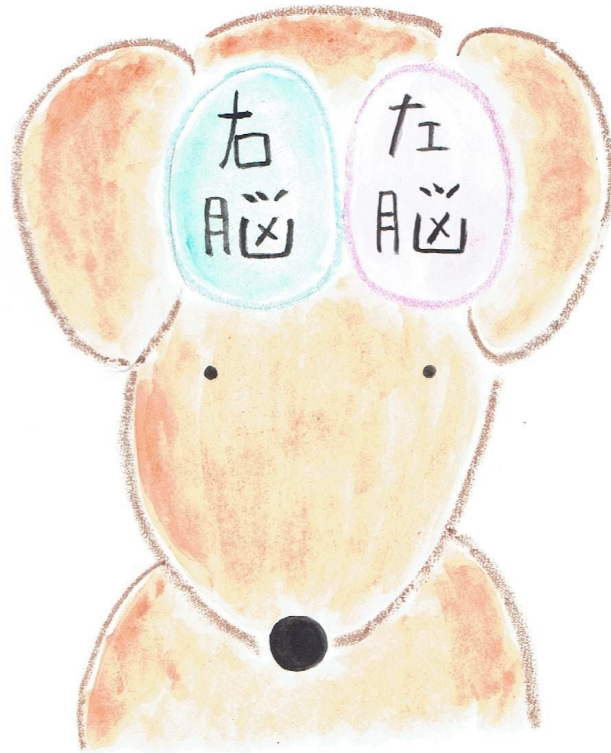
「どうしてこれはこうなんだろう？」

「そもそもこうだからかなあ…？」

この「興味モード」に入ってくれば「否定」をしなくなります。

「否定」は左脳が起きている限り完全にはなくなりませんが、それでも左脳に興味を持たせれば、極力「否定」を減らすことが出来るのです。

この辺りは、また別の章でじっくりと説明させていただきますね。



3. いろいろな能力

第4章では、様々なACのテクニックについてお話をしました。

- 繋がるため
- 情報を得るため
- 会話をするため

に、ACでは色々なテクニックを使って行なうことになるのですが、そのテクニックはそもそも「能力」を使うためのものです。

そして下記にあげたACに使う能力は全て右脳全開になる必要があります。

言い換えれば、テクニックはその手順通りに行えば右脳が開くということを目的としているのです。

能力とは

- ◆ リーディング⇒読み取る
- ◆ ヒーリング⇒癒す
- ◆ チャネリング⇒話す
- ◆ リンク⇒共感する
- ◆ 透視⇒見る
- ◆ 浄化⇒クリアにする、整える

などのことを指します。

ACの様々なテクニックを学んで、それらを使う時、そのテクニックで「どの能力」を「何の目的で」使おうとしているのか、理解した上で行うことがとても大切なのだということがお分かりいただけたと思います。

第6章

能力以外に必要なこと



1. ごあいさつ

第6章では、『能力以外に必要なこと』について説明していきますね。

ACを勉強する…となると、どうしても「特殊な能力」に意識が行きがちですね。
でも能力を開くことが出来たとしても、それだけではACは出来るようにはなりません。

今日はそんな『能力以外に必要なこと』について説明していきます。

2. 動物についての知識

能力以外に必要なもの。

その中でも、一番大切なのは「動物についての知識」になります。

特に

- 肉体の構造
- 病気
- 本能、習性

この3つはとても重要なので覚えておきましょう。

1つ1つ説明していきますね。

1. 肉体の構造

筋肉、内臓、骨、神経など、動物の肉体の構造を詳しく知れば知る程、ACをする上ではとても役に立ちます。

そもそも犬や猫、そしてその他の動物たちは、人間とは肉体の構造が違います。
身体機能なども、それぞれに独特の進化を遂げています。

相手の状態を読み取る「リーディング」を行う時、**肉体構造の知識が乏しいと得られる情報も少なくなってしまう**です。

肉体構造の知識があればあるほど、動物の体の情報を詳しくはっきりと得ることが出来るのです。

動物の体を頭の方からしっぽまでリーディングすることを「全身スキャン」と言います。
(体内をスキャンする場合は、体内スキャンと言います。)

このスキャンを行う際に、**異常がある箇所では何かしらの違和感を感じる**ことがあります。

その時、もっと情報を得ようとリーディングしていきますが、
例えば内臓がぼんやりとビジョンで見えた場合、
もし、肉体構造の知識がなくその内臓が何なのか知らなければ、リーディングの情報はそこまで終わってしまいます。

リーディングは、**自分が知っていて、尚且つ興味があるところしかビジョンを見る
ことが出来ない**からです。

昔、リーディングの練習をペアワークで行った時、お互いの体をスキャンしたのですが、私は誰もが知っている内臓を外側から観ていくことだけで精一杯でした。

一方、**医療従事者**だったお相手は、内臓の外側も内側も、そして私の甲状腺の状態までも観て下さいました。

知っているのと、知らないのとではこんなに差が出てしまうのです。

また、筋肉などを勉強することでその動物がどのように動くかも理解出来るので、その動物が感じている感覚を自分の体で感じようとした時に、よりリアルに感じる事が出来るようになります。

2. 病気

肉体構造にも関連しますが、それぞれの動物の「病気」についての知識もACでは必要になってきます。

ただ、ペットを飼われている方であれば、ある程度、ご自分のペットの病気についてはお勉強されていることと思います。

これからお友達のペットにACをしていく予定の方や、ACをお仕事にしていこうと思われている方は、ぜひ、色々な動物の肉体構造や病気について、学ばれておいて下さいね。

先程も書かせていただきましたが、第六感（能力）を使う時、

「自分が知っていて」

「興味がある」

ところの情報しか得ることが出来ません。

例えば、この病気の時にはこの辺りが痛む。

など、事前に情報を知っていれば、その病気が疑われたときに、

その箇所にピンポイントでフォーカスして、そこに痛みがあるかどうかを観てみる

ということが可能になるのです。

病気の知識を得ることでのメリットは他にもあります。

例えば、インフルエンザにかかったことがある人が、他の誰かがインフルエンザで苦しんでいるのを見た時、

「ただなんとなく辛そう」

ではなく

「うわー、辛いよね。節々痛いし、頭も喉も痛いし、熱でふらふらだよね」

と辛さの詳細を細かく想像することが出来ます。

自分の経験や知識からあらかじめ「ここがこうなってるはず」と観てみることでそれが基準となり、実際にリンクしてみたときに

「あれ？意外と痛みを感じていないみたい」

「思ったより酷いなあ」 など、

詳しく感じる事が出来るのです。

ただ、ここで注意していただきたいことがあります。

ACは医療行為ではありません。

あくまで感じたことをお伝えするものになります。

「断言」してはいけません。

可能性だけお伝えします。

お相手には、必ずここをきちんとお伝えした上で、参考程度に聞いていただき、何かいつもと違う違和感を飼い主さんが感じられていましたら、早めに病院に行かれることを勧めて獣医師の診断を仰いで下さいね。

3. 本能・習性

ACを行う上で、「本能、習性」については、私個人としては「絶対」に学んでおいて頂きたい項目になります。

ACは動物と意思疎通することが出来ますが、

意思が伝わると何もかもが説得できる気がしてしまいがちですが、それは間違いです。

ペットさんの問題行動全てが説得で解決できるわけではないことを覚えておいて下さいね。

動物には本能があります。

理性が発達している私たち人間ですら「食欲」「睡眠欲」「排泄欲」という本能がありますよね。

この本能は、自分の意志で抑えることが出来ません。

そして、動物はこの本能の割合が私たち人間よりも遥かに大きいのです。

もし、ペットの問題行動が本能から起きているとしたら、

それをすることでどれだけ飼い主さんが困るのか、どうしてそれをしてはいけないのか、ペットさんがいくら理解することが出来たとしても、本能から来る自分のその行動を理性で抑えることは不可能なのです。

そうとは知らずに、ずっと「やめて欲しい」と言い続けていたら、ペットさんはとても悲しい思いをすることになります。

本能から起きている行動に「してはいけない」と伝えることは

人間ならば

「一生食べないでね」

「一生トイレをしないでね」

と言われているようなものなのです。

では問題行動が本能から起きているのなら、飼い主さんは諦めるしかないのかと言うと、そうではありません。

その解決方法についてはまた後半の回で詳しくお伝えしますね。

まずは、動物の本能、習性を知っておくことが大切だということを覚えておきましょう。

3. 表現する力

「能力以外に必要なこと」の2つ目は「**表現する力**」です。

ACは、最終的には「言葉」でも受け取れるようになりますが、最初のうちは「体感」として情報を受け取ることの方が多いと思います。

そして、

私たちは日々の中で体感で受け取ったもの、感じたものを、「**言葉に直して表現する**」ということをあまり意識して行なっていません。

一方、小説家さんや、芸術家さん等は自分が感じているものを表現することにとっても長けています。

また、テレビのレポーターの「食レポ」も、感じたことを言葉に直して、どんな味なのかを見ているこちら側の人にも想像できるように分かりやすく上手に表現されていますよね？

私たちも、ACを上達させるためには、相手に**分かりやすく伝えるための練習が必要**になります。

時々、「自分の家の子とだけお話出来ればよいので…」という方もいらっしゃると思いますが、ACで会話した内容はその場で記録しておかないとすぐに忘れてしまいます。

前回の脳のお話を思い出して欲しいのですが、**右脳は記憶担当ではありませんでしたよね？**

※正確には右脳も一応記憶はしているのですが、記憶が自分の意志で自由に取り出せる場所に保管されていないのです。

自分のペットさんとの会話だけが目的の場合も、メモを取るという行為が必要になりますので、
やはり「言葉に直して分かりやすく表現する」部分は鍛えておく必要があるのです。

4. ACに関する事例の引き出し

「能力以外に必要なこと」の最後は、「ACに関する事例の引き出し」です。

ACでは、自分もしくは、他のアニマルコミュニケーターさんたちのACの会話の実例を数多く知っておくことがとても大切です。

動物たちとの会話は、人間同士の会話と違って時には予想もつかないような結果になったりします。

私も、ACを行って来て、こちらの想像を遥かに超える健気さや、ユニークさに何度も驚かされています。

動物からの答えがこちらの想像の域を超えていると、中々正解にたどり着くことが出来ないことがあります。

ACの会話の実例を沢山知り、頭の中に「事例の引き出し」を沢山作っておくことで、自分の想像の領域が広がり、動物との会話の内容がより深く広くなるのです。

また、問題行動の解決の際、ペットさんから原因を聞き、ペットにも飼い主にも優しい解決策を考え、提案するのがACの仕事になります。

その時にこの「事例の引き出し」がないと、せっかく問題行動の理由を知ることが出来ても、解決まで導けないという悲しい結果に終わってしまいます。

前に、

私はACをする際「100%ペット側の味方の弁護士」のつもりでやっています。

とお話させていただきました。

弁護士は、過去の判決例を調べ尽くして、沢山頭の引き出しに入れてから裁判に挑みますよね？

ACも一緒です。

「こういう問題の時は、こんな解決方法もあるらしい」と知っていることで、まずペットさんにこのことを説明して「協力する気があるかどうか打診してみる」ということが可能になるのです。

昔と違って、今は沢山の日本語のAC関係の本が出版されています。

ぜひ日ごろから時間がある時に、ただ読み物として読むのではなく、

自分の頭の中に「**実例の引き出しを作る**」ことを意識しながら読んでみてくださいね。



第7章

何から始めたらいい？



1. ごあいさつ

第7章では、『何から始めたら良い?』について説明していきますね。

ACを習得しよう!と考えた時、一体何から始めたら良いでしょうか?

すぐに頭に浮かぶのは、**ACのセミナーを受けること**ではないでしょうか?

でも、ACのセミナーを受けるにもどうやって選んだら良いのか…
迷いますよね。

今日は、その辺りをお話していきたいと思います。

また、**セミナーを受ける前でも、日常AC上達のために出来ることも**合わせてお伝えしたいと思います。

いつも長文ですが、今回はいつも以上に長文です。

最後まで頑張って読まれてみてくださいね。

2. テクニックを学ぶ

ACが出来るようになるためには、とりあえず、ACのテクニックを学ぶ必要があります。

前に「ACの仕組み」はお伝えしましたが、右脳は自分の意志で意図的に開くことが出来ない
ので、テクニックの手順を教わって、**繰り返し練習をして、身体（脳）にしっかりと覚え込ませる**必要があります。

一番のお勧めは、やはり**セミナーで直接ACが出来る方から教えてもらって習得すること**だと思います。

セミナーを受けようと思ったら、まずは以下のことをご自分のライフスタイルとも照らし合わせて検討していくと良いでしょう。

1. テクニックの種類
2. セミナーの内容
3. 開催場所
4. セミナーのスタイルや人数
5. 学習期間
6. 料金
7. 講師との相性
8. アフターケア

それでは1つ1つ説明していきますね。

所々、ちょいちょい DolphinRose の補足（宣伝？）が入ってうざく感じるかもしれませんが、読んでいるうちに慣れると思います…多分。

1. テクニックの種類

テクニックにはいくつか種類があり、人によって合う合わないがあるんですよね。

まずは、第4章でお伝えしたテクニックのおさらいからしてみましょう。

テクニックには、

- ◆ 瞑想法
- ◆ ヒプノを使った方法
- ◆ カードを使った方法
- ◆ ペンデュラムを使った方法
- ◆ チャネリング法
- ◆ リーディング法
- ◆ リンクする

などがありました。

この中で学んでみたいと思うものを決めましょう。

(探せばこれ以外にもテクニックはあります ので探してみてください)

テクニックの概要については第4章で既にお話してあるので、ここでは割愛させていただきます。

2. セミナーの内容

これもしっかりチェックしておきましょう。

そのセミナーを受けて、自分が思っているレベルまで出来るようになるのかどうか。

また、どのようなことが行なわれるのか。

ほとんどのセミナーが内容の詳細をしっかりと書いておられますので、自分が受けることをイメージしてシミュレーションしながらしっかり読み込みましょう。

分からないところがあれば、事前に直接メールで問い合わせましょう。

3. 開催場所

これも受講を決める上での大切なポイントです。

何回か続けて通わなくてはいけない場合、**交通機関、交通費も含めて最後まで通えるかどうか**検討しましょう。

もちろん、遠くてもそれに見合うだけの収穫が期待できるのでしたら予算が許されるのなら受けた方が良いでしょう。

4. セミナーのスタイルや人数

セミナー会場は広い会場なのか、サロンなのか、オンライン(電話含む)なのか、受講者の人数は、大勢なのか、少人数なのか、マンツーマンなのか？

例えば…

海外から時々しか来られない外国人の方が講師のセミナーは人気がありますので、**広い会場で、通訳付きで、受講生も沢山**っていう感じになりますね。

臨場感もたっぷり味わえますし、沢山の方に知り合えるきっかけにもなります。

普段見つけるのに苦労する練習相手やAC仲間を作るチャンスでもありますね。

ただ、小さな質問など、疑問が湧き上がる度に聞くことは難しいかもしれません。

あと、**外国人講師で通訳付きの場合は、半分は通訳の時間**なので、セミナーのボリュームは全体の時間の半分程度だと思っておきましょう。

講師の方が自らのサロンでセミナーを開催する場合は、少人数でアットホームな雰囲気で行われることが多いですね。

サロンで行われる時は、ペット同伴OKのところもありますので、ご自分のペットと参加されたい方はこのスタイルを選ばれると良いでしょう。

それから、場所を選ばず自宅で受けることが出来る通信講座があります。

通信講座の中でも、テキストや動画のみで自習するタイプ、オンラインでレッスンするタイプが存在します。

因みに DolphinRoseのAC講座のスタイルは、この両方の混合で
テキストレッスン（課題あり）プラス・オンライン（電話、Skype、Zoom など）の通信講座で、マンツーマン形式になります。

5. 学習期間

ACのセミナーで一番多いのは1-2日で終了するタイプです。

ただ、ACは1-2日で全てを習得するのはとても難しいので、再受講制度があったり、初級、中級、上級などコースが細かく分かれていたりするものも増えて来ています。

逆に**通信講座は基本的に長い傾向**にあります。

数か月から1年が主流です。

DolphinRoseの場合は、ご入学からご卒業まで平均3か月くらいです。

ご自分のペースで受講していただくので、ゆっくり1年以上かけてご卒業される方もいらっしゃいます。

6. 料金

セミナーを選ぶ際にかなり重要ポイントになるのがこの料金です。

私も数多くのセミナーを受けて来ましたが、ここは避けて通れないところだし、そして、一番の悩みポイントでもありました。

息子の明日のごはんをとるか、セミナーをとるか…

いつもそこで悩んでいましたね。

今は分割で支払えるところも増えて来ました。

自分が受講後に到達したいレベルと講座の内容、そしてそれに対する料金が見合っていれば、頑張って分割もアリかもしれません。

もちろん、この料金に関してのご決断は自己責任でお願いします m(__)m

DolphinRose でも 3 回払いまで分割払いを受け付けています。

※分割手数料アリ

7. 講師との相性

これもセミナーを選ぶ上で大切なポイントになります。

どんなに魅力的なテクニックを教えてくれるセミナーであっても、特に期間が長い場合や、料金が長い場合、講師との相性が合わない可悲しいです。

セミナーの説明文や講師のブログなどを読みながら、ACの練習も兼ねて、講師の雰囲気「感じて」みましょう。

DolphinRoseでは、事前に30分の無料説明を受けていただくことが出来ますので、その時に相性を見ていただくことも出来ます。

8. アフターケア

自分で練習している時に、疑問点など出てきたら、どのようにフォローしてもらえるのか？
また、練習会はあるのか？など

セミナーが修了した後のフォローも事前に調べておくとい良いでしょう。

セミナー中は、分かっているつもりでも、いざ自分1人で練習を始めると、色々分からないところが出てくるものです。

そこを放っておくと、本当に出来なくなってしまう。

分からないことが出てきたらそのままにしないで、解決することも、またAC上達のコツです。

練習会もあればぜひ参加したいですね。

自信がつくきっかけにもなりますし、分からないことを聞くチャンスでもあります。

また、自分のペットとお話してもらえるお得感もありますね。

DolphinRoseでは、ご卒業後のご質問はメールでいつでも受け付けております。
期限は特に設けておりません。

また、毎月2回Zoomという会議システムを使った練習会を無料で開いています。

Zoomは、Skypeより簡単でPCだけでなく、スマホ、タブレットからでも参加可能です。

3. ACのために日常できること

セミナーを受けようと思っても、日にちの都合が合わない、お金の都合がつかないなど、すぐに受けられない場合もありますよね。

そんな時でも安心してください。

AC習得のために、日頃から出来ることは沢山あるんですよ。

- ① AC関係の本を読む
- ② 動物の解剖図や図鑑を見る
- ③ 動物の動画を見る
- ④ 動物園に行く
- ⑤ 五感を意識する
- ⑥ 感じたことを表現する
- ⑦ テレビでハイジさんを見る

それでは、1つ1つ簡単に説明していきますね。

1. AC関係の本を読む

AC関係の本は、読み過ぎるということはないので、ぜひ沢山読んでもらいたいですね。
出来たら最初は、ACの歴史が古い欧米の書籍から読まれて行くと良いと思います。

ACのやり方（マニュアル）が書かれている本も良いのですが、事例や体験談が多く書かれている本や、その人がACが出来るようになるまでが書かれている本などを中心に読まれると良いでしょう。

また、ACをしている時の描写が細かく書かれている本ならばイメージ作りに良いと思います。

2. 動物の解剖図や図鑑を見る

前回のお話で、肉体構造を知る大切さをお伝えしました。

実際には、きちんとした動物の解剖図の本はお値段がかなりします。

探せばネット上でも、詳しく載せてくれているサイトもありますので、印刷したりしてお勉強されるのも良いですね。

日ごろ、私がお勧めしている本はこちらになります↓↓

<http://amzn.to/2A3bVHC>

色々な動物の解剖図が載っています。

現在は廃盤で中古しか売っていませんが・・・。

3. 動物の動画を見る

そもそも何のために動画を見るのかと言うと、「仕草や動き」を見て、観察するためです。

自分が詳しい動物も、そうでない動物も、ただただ「仕草や動き」にフォーカスして、見るようにします。

「仕草や動き」にフォーカスすることで、実はその動物を「感じる」という練習が出来ています。

仕草や動きが頭に入ってくると、その動物にリンク（共感）することが容易になってきますよ。

あと、動画を見る際は、なるべく動きなどに「興味」を持ちながら見るようにしてくださいね。

4. 動物園に行く

もし、動物園や水族館に行く機会があれば、直接行って動物たちに会ってきましょう。そして、やっていただきたいのは「動物が感じているものを自分で感じてみる」です。

動物園に行くと動物たちが
食事をしていたり
排泄をしていたり
身体を掻いていたります。

その動物が体で感じているその感覚を、想像しながら自分でも五感で感じてみてください。

食べ物なら歯ごたえ、味、身体を掻いているのであれば掻いたときの感覚

自分の体を使って、どんどん感じる練習をすると「リンク（共感）」する能力を鍛えることができます。

5. 五感を意識する

普段、無意識に使っている「五感」。
これらを敢えて1つに絞って感じてみます。

今日は聴覚
今日は触覚
今日は嗅覚…
という感じです。

普段私たちは「視覚」をかなりの割合で使っています。
感じる練習をしてみると、自分の五感に「得意」「不得意」があることに気づきます。
特に「不得意」な五感に関しては意識して鍛えていくと良いでしょう。

6. 感じたことを表現する

「感じたことを表現する」この作業はACでは頻繁に行います。

感じたことを表現するためには、今「感じている」ことを左脳の表面に汲み上げる必要があります。

そして、その前に「今、感じた」ことに気づく必要があります。

日ごろから自分の感情の動きにフォーカスして、自分を観察することを習慣にしていきましょう。

自分をいつも観察することはACをする上で必要な自己肯定、自己受容にも繋がります。
出来たら、文章にしてノートなどに書き出しアウトプットに慣れておくことをお勧めします。

- ・感じていることに気づく
- ↓
- ・それを言葉に直す
- ↓
- ・文字に起こしてアウトプットする

この工程を繰り返してみてくださいね。

食事をしながら、テレビの食レポの真似もお勧めですよ。

大切なのは「相手が分かりやすいように言葉に直す」ことです。

7. テレビでハイジさんを見る

いきなり個人名を出してしまいましたが…。

今、日本のテレビで定期的にACのセッションの光景が見られるのはハイジさんだけなので、敢えて個人名を出させていただきました。

ACのセッションの雰囲気を感じてもらうには一番手っ取り早いですよ。
YOUTUBEにもいくつか動画を見つけることができます。

見るときには、ただ受け身で見るのではなく、

今、どの能力を使っているのか

今、何を感じ取ったのか？⇒感情、味覚、嗅覚などの五感

などに注目しながら見てみるようにしましょう。

その際、テレビ側の演出も見抜いてみましょう。
少しテレビの裏側が分かるかも。

第8章

質問の仕方



1. ごあいさつ

第8章では『動物への質問の仕方』について説明していきますね。

ACで「肝」になる部分が実は、この「質問の仕方」です。

ACを習ったけれども、動物に質問をしても返事が返って来ません…

という方がいらっしゃいますが、もしかしたら、この「質問の仕方」をきちんとマスターしていないだけなのかもしれません。

質問は「右脳」だけでなく「左脳」も同時に使う作業になってきます。

感じながら、考えながら質問をする練習をしてみましょう。

2. 質問ってどうやってするの？

ACをする際、コミュニケーションの手段が「言葉」だけではない…

ということは、皆さんご存知のことと思います。

ACは「言葉」以外に五感も第六感も両方使ってコミュニケーションを図っていきます。

こちらから質問する際、「イメージを飛ばす」「イメージを送る」という風に学ばれている方もいらっしゃるかもしれません。

でも、実際はそこまで「送る」ことに拘らなくても、質問の内容を自分が「体感」することで動物たちには十分伝わります。

投げかけたり、送るイメージではなく、自分は動かないまま想念だけでお話し感じます。

電話で話す時、相手のところまで言葉を届けようとか、言葉を送ろうとか考えず、ただその場で受話器を持ってお話しますよね？

その状態と一緒にです。

そして「イメージ」という言葉だけが独り歩きしてしまっていますが、質問をする際に**ビジョンだけでなく、五感全てで感じる**ことがとても大切です。

ここで、前にお話した「五感を鍛える」という練習が力を発揮してきます。

それから、五感を感じる場合、必ず動物たちの目線になって感じて下さいね。

動物たちは自分の姿を外から見たことがないですし、自分目線で感じてくれた方がより伝わりやすいのです。

例えば…

「最近病院に行ったでしょ？」と伝えたい時、

病院内の風景をイメージするだけでなく、

冷たい緑色の台、入院中や預かり中の犬たちが吠える声、獣医さんっぽい人、看護師っぽい人、消毒の匂い、診察台の上のライトのまぶしさ・・・

などを自分の五感で感じます。

そしてその感覚に「こんなことあったでしょ？」という気持ちをプラスすることで、動物たちには 質問として届きます。

五感全てを使ってイメージしながら自分がしっかり感じる

これが質問のコツです。

3. 取り調べになっていませんか？

あなたのその質問。

警察の取り調べになっていませんか？

初対面の動物たちとお話する際、あなたは、動物たちと仲良くなる前に、いきなり「質問」から入っていないでしょうか？

いきなりではなかったにしても、「こんにちは」とあいさつをしてすぐに質問していないでしょうか？

自分に置き換えて考えてみましょう。

見ず知らずの人が近寄って来て、「こんにちは。」と言われ、その後すぐに「あなたの家の住所はどこですか？」と聞かれたら、あなたは個人情報を即答するでしょうか？

まずはそれよりも先に**動物からの信頼を得ること**が大切です。

最初に自分からハートを開き、動物たちからもハートを開いてもらった時、初めてACが成立するのです。

すぐにでも質問したい気持ちを抑えて、慌てず、焦らず、まずは、しっかりと動物たちとエネルギーで繋がりましょう。

ACは電話をかけるのと同じです。

まずは受話器を上げて、ダイヤルをして（繋がって）相手が出たら話をします。

受話器を上げただけで、まだ「プー」と言っている段階で質問をして、「返事が返って来ない・・・」と思っている場合もあるのです。

今、自分がどの段階なのか

受話器を上げたのか

ダイヤルしたのか

相手が電話に出たのか

しっかり体感で把握しておく必要がありますね。

そして、質問の際には必ず感情を込めるようにしてください。
本当に疑問に思っていなければ質問として相手に届きません。
心の中で「言葉」を棒読みしても動物たちには伝わらないのです。

ACはテレパシーを使って行ないます。

テレパシーは言葉を使わなくて良い反面、心の「嘘」が通用しません。

「好きな食べ物は何？」という質問をする時も、「この子が何の食べ物を好きでも嫌いでも、私には興味がない。」と思っていたら、質問は相手に届きません。

質問する際は、「**本気の疑問**」のパワーが必要なのです。

4. 2～3歳児の人間の子供を想定する

DolphinRoseでは、

ACをする際は、「人間の2-3歳児の子相手にお話をするつもりでACをしましょう。」
と、お伝えしています。

少しイメージしてみましょう。

あなたのお友達から、

「うちの子ども（人間・3歳）が最近元気がないの。その原因を聞き出してくれない？」
とお願いされたとしましょう。

自分が友達の子どもとは全くの初対面だったとして、いきなり挨拶もなしに、

「どうして最近元気がないの？」
とは問いたさないですよね？

恐らく、最初はその子をリラックスさせるために、

褒めてあげたり

気分良くさせてあげたり

時にはジュースを飲ませたり

お菓子をあげたり

するのではないのでしょうか？

褒めるとは、例えば

「かっこいいおもちゃ持ってるね。」とか

「かわいいお洋服着ているね。」とか…

そして

「幼稚園は楽しい？」

「お母さんは優しいでしょ？」

など、本題の質問ではない質問を先にしたりしますよね。

2-3歳児相手に話す時にとても重要なこと・・・

それは「**いつも自分が会話をリードすること**」です。

2-3 歳児の子に話しかける時、

「大変申し訳ありませんが、少しだけお話しても良いでしょうか？」

と下から行きません。

「お話を聞かせてくれるかな？」

と、優しく包むように、相手に威圧感を与えないように注意しながらも、常にリードしながらお話をしますと思います。

そして常に相手の状態にフォーカスして、機嫌が良いのか悪いのか気を遣うと思います。

動物たちも一緒です。

相手に敬意を払いながらも、コミュニケーションは必ず自分がリードすることが大切です。

5. YES、NOの質問

ACでは、

特に繋がり始め、お話をし始めた時には **YES、NOで応えられる質問**をしていきます。

とても不自然に感じるかもしれませんが、またここで人間の2-3歳児とお話するのを思い出してみましょう。

初対面のため、その子が自分に人見知りをしていたとします。

「最近元気がないらしいけどどうして？」と聞いても、お返事がありません。

2-3歳の子は、文の組み立てがまだしっかりしていませんから、答えが浮かんでいたとしてもそれを文章にまとめて相手に伝える術を知りません。

そんな時、あなたならどうしますか？

ここで「YES、NOの質問」の出番です。

「幼稚園は楽しい？」

「お友達にいじめられてない？」

「どこか痛いところあるの？」

など、

「元気がない」というワードから考えられる質問をどんどん聞いていきます。

「これ？」それとも「これ？」という感じです。

どんなに人見知りで声が出せないとしても、頭を縦に振ったり、横に振ったりして答えてくれる子は多いですね？

いつも会話をリードして、ただ漠然とした質問を投げかけてその答えが返ってくるのを待つのではなく、**どんどん細かい「YES、NO」の質問をして答えを取りに行く。**

結構ACは、根気がいるのです。

漠然な質問の例として1つあげると「何をしている時が一番楽しい？」です。

これは人間の子でも答えるのが難しい質問です。

これもやっぱり「YES、NO」の質問から入っていきます。

「お父さん、お母さんという時楽しい？」

「おもちゃで遊んでいる時楽しい？」

「お散歩の時楽しい？」

ここで、もしかしたら「ACってずっとYES、NOの質問をしなくてはいけないの？」と、テンションが下がった方がいらっしゃるかもしれませんね。

でもご安心ください。

これはあくまで「会話の始め」だけです。

「これ？それともこれ？それともこれ？」と聞いているうちに

「違うよ。これだよ。」とか

「そうだよ。でもこれをしている時も楽しいよ」など、

自分で気づかないうちに「普通の会話」になってきます。

あくまで**会話の入り口が「YES、NOの質問」**だと思って下さい。

そしてそれは人間の子と一緒に。

最初は、首を振るだけの返事をしていた子が、時間が経ってハートを開いてくれたらおしゃべりしてくれるようになることってよくあります。

この「YES、NO」の質問は、実は普段私たちは無意識に出来ていて、日常で頻繁に使っています。

でも、いざ、意識して使おうとすると「あれ？どうしてたっけ？」となって、何か特別なことのように難しく考えてしまいます。

まずは普通の会話の中で、「YES、NO」の質問をしている自分に気づいてみるところから始めてみましょう。

ACでは「質問力」は不可欠です。

普段自分がどんな風に相手を意識して質問しているのか？
一度、観察してみると良いですね。

第9章

ACのコツ(その1)



1. ごあいさつ

第9章では、『ACのコツ』について説明していきますね。

ACのコツについてはボリュームがありますので、今回と次回と2回に分けてお伝えしていきます。

まず、コツの1つとして「人間の2-3歳児に話しかけるように…」というのがありますが、これに関しては前回の第8章にて詳しくお話していますので、そちらを参考にしてください。

今日はそれ以外のACのコツをお話していきますね。

2. 飼い主に心を開いてもらう

ペットさんと話をする時、エネルギーは当然、自分とペットさんと相互にやりとりしています。

エネルギーの流れとしては

1. 自分 ⇨ ペットさん
2. ペットさん ⇨ 自分

この2つですね。

ただ、ここにそのペットさんの飼い主さんが関わって来ると、エネルギーの流れが違ってきます。

自分とペットさんとのエネルギーのやりとりは今まで通り存在するのですが、そこに『**ペットさん ⇨ 飼い主さん ⇨ 自分**』という流れが加わるのです。

それによってペットさんから来る情報のエネルギーが、

1. ペットさんから自分（直接のやりとり）
2. ペットさんから飼い主さんを経由して自分

という2通りの道筋が出来ます。

質問をしたり、会話をしたりする場合は「1」の流れで「直接」やりとりします。

そして、その子の情報を知る・その子をリーディングする時には、直接その子から来るエネルギーの流れもありますが、飼い主さんを通して流れてくるエネルギーの方が圧倒的に多くなります。

これについて、私は原理まではまだ究明出来ていません。

飼い主さん経由の流れがなくても、もちろんペットさんとお話は出来ますが、**飼い主さん経由の流れからの情報量の方が直接の時よりも多いので、飼い主さん経由の流れがあった方が断然コミュニケーションしやすいのです。**

そして、この飼い主さん経由のエネルギーのパイプの太さは飼い主さん次第で太くもなり、細くもなります。

このパイプを太くして、ペットさんの情報をより得るためには「飼い主さんに心を開いてもらう」ということが必要になってきます。

ACを受ける際、実は飼い主さんたちはかなり「緊張」されていることが多いです。

何を今から伝えられるんだろう？

うちの子は何て言うんだろう？

などとドキドキしているんですね。

波動で言えば、「乱れている」状態です。

これではパイプは細いどころか閉じてしまいます。

だから、まずは飼い主さんにリラックスしてもらうことが大切です。

世間話などして飼い主さんのエネルギーが安定して、自分に対してハートが開いたのを確認してからACを始めると良いでしょう。

相手にハートを開いてもらう一番良い方法は、「自分から先に相手にハートを開く」ことです。

でも、今からACをする…となると、自分の方が既にガチガチで緊張されてしまう方も多いと思います。

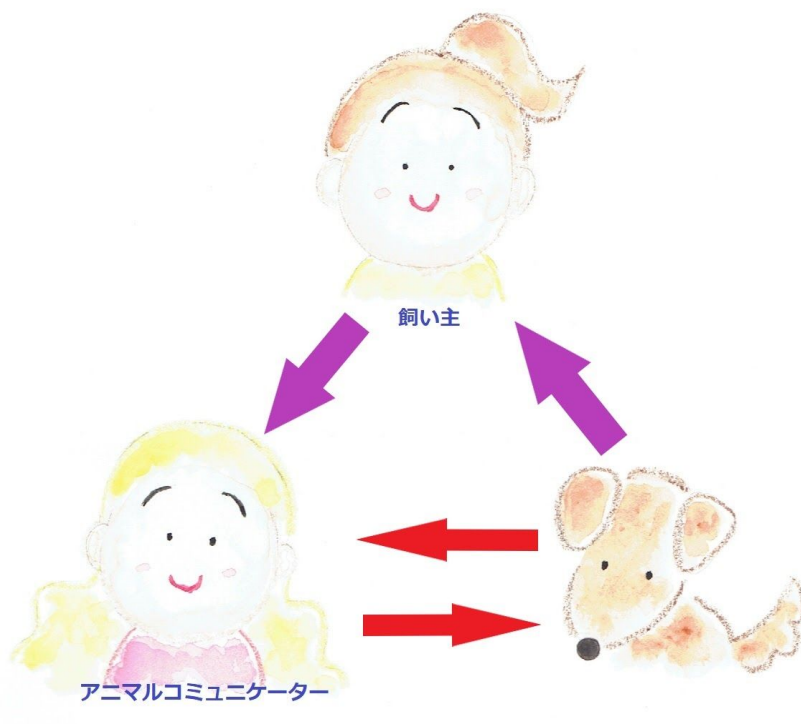
私もそうでした。

そういう時は、上手にやろうなどと考えずにそのままの自分をさらけ出しちゃいましょう。

構えたり、鎧を着たりせず、素の自分を出すことで、リラックスして波動を整えることが出来、そして相手にハートを開けるようになるのです。

ハートを開くというのは

相手に対して「信頼する」「委ねる」「相手へのコントロールを手放す」ことを意識する という意味で捉えていただくと良いと思います。



3. 本物と対峙した時のオーラを出す

コツの2つめは「本物と対峙した時のオーラを出す」です。

ACはテレパシーでコミュニケーションします。

そして、テレパシーは「嘘」が通用しません。

ACは写真を使って行うことも多いのですが、ここで少し想像してみましょう。

あなたが

- ライオンの写真を見た時
- 動物園でライオンに直接手から餌をあげた時

どちらの時のテンションがより高いでしょうか？

中には本物を前にしたら怖くて餌をあげられない人もいるかもしれませんね。

でも、その餌をあげられないという方も、ただ写真を見ただけでは「怖いー。」と逃げ出したりまではしないと思います。

何が言いたいのかと言うと、お写真でACを行う際、この「**本物に会った時**」のテンションを感じながらコミュニケーションして欲しいということなのです。

本物を目の前にすると自分から放たれるオーラは、ただ写真を見ている時とは明らかに違います。

ACをする上で本物と対峙した時のエネルギーを放つことはとても大切なのです。

その子が実際に目の前にいたら自分はどんな波動を出すだろう？

まずは想像してみて、その波動を実際に出してみましょう。

私の場合、かわいいという思いと愛おしいという思いがふわっと溢れてきます。

みなさんはどんな思いが上がって来ますか？

4. 本気で仲良くなる

ACが出来るようになりたいという方は、きっと「動物たちともっともっと仲良くなりたい」と思っていることでしょう。

でも実際にACをする時、そんなことは忘れてしまって、必死になってしまっている方が意外と多いものです。

何度も繰り返しお伝えしていますが、テレパシーは嘘が通用しません。

ACでは動物たちと「本気で」仲良くなりたいと思うことがとても大切なんです。

でも「本気で」という言葉を使うと、「ごごごおおおお」という「執着」とか「念」にも似たエネルギーを動物に送る方がいますが、これはやめてくださいね。

「本気で」と言っても、身体に力を入れるという意味ではありません。

寧ろ体に力が入ってしまっていることに気づいたら意識して力を抜くようにしましょう。

相手と本気で仲良くなりたい時、あなたは、何を思いますか？

- ◆ 相手のことをもっと知りたい
- ◆ 相手にも自分のことを知ってもらいたい
- ◆ 相手に好かれたい
- ◆ 相手と共感したい

などなど、思いますよね。

それは相手が動物でも一緒。

動物だから…と構えるのではなく、自分の中に「相手と仲良くなりたい」という気持ちがあることを確認して、その気持ちを全開にしていきましょう。

5. 興味を持つ

「ACのコツ」（その1）の最後は「**興味を持つ**」です。
これ、実はコツの中でも一番大切なコツになります。

ACをしようと思ったら「**興味**」を持たないことには始まりません。

例えばACでリーディング（相手の情報を読み取る）する場合、自分が「**興味**」を持っている部分の情報しか得ることが出来ません。

「普段、どんな風にお散歩しているんだろう？」
と「**本気で興味**」を持つことで初めてその子のお散歩の様子を読み取ることが出来るのです。

情報の読み取りだけでなく、動物たちと会話をする場合も、自分がその質問の答えに対して 本気で興味を持たなければ、相手に質問として伝わりません。

飼い主さんから質問をお預かりした時、自分も本気でその質問に共感し「その答えを私も知りたい」という風に興味を持たないといけないのです。

普段私たちは、生活の中で興味がないものは、別に興味を持たないまま生きていくことが出来ています。

だから、興味がないものに無理に興味を持つ…ということに慣れていません。

ACが出来るようになるためにもこの部分は普段から鍛えておく必要があります。

ここで必要なテクニックは「自分を騙す」ことです。

前に、ACに向いている人の中で、「演技をする時、役にのめり込める」という項目があったのを覚えていますか？

「私はこれに興味がある！」と無理やり自分に思い込ませて、自分を騙すんです。

最初は頭から湯気が出たりします。

でも、繰り返しやっているとだんだんとコツが分かって来ると思います。

ぜひ日ごろ興味のないものから何かを感じ取ろうとする練習をしてみてくださいね。

第10章

ACのコツ(その2)



1. ごあいさつ

早いものでもう第10章ですね。

途中でやめることなく、読んで下さって本当にありがとうございます。

AC講座はまだまだ続きます。

どうぞ最後までよろしくお願いします。

第10章は第9章からの続き『ACのコツ（その2）』についてお話していきますね。

2. ACが終わったら「振り返り」 「分析」をする

ACは、「特別な不思議な能力ではない」

ということは、この講座をここまで読んで下さっている皆さんなら既にご理解して頂いていることと思います。

ACをする際に、闇雲に漠然と「繋がる」という練習を続けていると、出来る日もあり、出来ない日もあり…と、いつまでも安定しません。

ACの手順は簡単に言うと

1. 動物に繋がる
 2. コミュニケーションする
- 以上

…と、とても単純なのですが、実はこの「コミュニケーションする」という部分で、沢山のことを行なっているのですよね。

それも、その時その時に応じて、臨機応変に使う能力、使う引き出しを変えていきます。

ACを習ったけれども出来ないという場合、「練習を沢山しなさい」と言われたことがある方もいらっしゃるかもしれませんが、**ただ闇雲に手探りで練習をしていても上達出来ません。**

そこで今回お話する **毎回ACが終わった後の、「振り返り」** が必要になります。

実際にACをやっている時は右脳全開の状態なので、分析などを司る左脳を同時に働かせることは、最初のうちは難しくて出来ません。

自覚しよう、ジャッジしようとするということは、「正気に戻る」（左脳に戻る）ことを意味します。

正気に戻ってしまうと「動物と話す」という行為そのものが、ものすごくハードルが高いものだ という感覚に戻ってしまいます。

生まれつきの能力もないのに何て大それたことをしようとしていたんだ…と我に戻ってしまうのです。

だから、慣れるまでの間はACをしている途中で、決して確認、検証しようとしなくてください。

必ずACを終えてから振り返り、分析をするようにしましょう。

ACが終わる度に、この振り返りを続けていると、自然とACを行っている最中でも、左脳のチェック、ジャッジの部分が良い感じで開いて来ます。

そして、やっている最中に「自分が今、何のために何の能力を使っているのか？」ということが整理されて分かるようになってきます。

毎回、ACが終わったら自分がどの時に、ただ「合っていた」「合っていなかった」という答え合わせではなく、どの能力を使っていたのか、もしくは使えなかったのかを振り返るようにしましょう。

以下に能力の例をあげておきます。

- ◆ 繋がる
- ◆ リーディングする
- ◆ チャネリングする
- ◆ リンクする
- ◆ 深い部分で言葉で会話する

一番気を付けて欲しいのは「**自分の想像や妄想の暴走**」です。

動物たちの声やストーリーを、勝手に作り上げてしまうという行為です。

見分け方のヒントとして、自分の想像や妄想の場合は、苦もなくスラスラ出て来ます。

右脳を使っている時にはどちらかというと絞り出す感じで、**受け取れたとしても片言だったり、意味の分からないビジョンだけが断片的に来たり…**

少なくとも、スラスラ、ぺらぺらとは来ません。

自分が、どの場面でどの能力を使ったのか確認をしたら、その能力を使うための手順をちゃんと辿っていたかも確認します。

最初は面倒に感じますが、自分の中の回路が出来上がるまで、基本は忠実に守りましょう。

ACをしている時の能力の開き方は一歩間違うととても危険な場合があります。

ACの後に振り返りをするということは、危険なところに繋がるのを防ぐため、安全のためでもあるのです。

しっかり毎回間違わずにちゃんと動物たちと繋がるためには、きちんとした回路を自分の身体（脳）に覚えてもらう必要があります。

自分で「もう大丈夫」と思えるまでは、手順など基本に忠実にやっていきましょう。

自分が適所、適時に適切な能力を使えたかどうかの振り返りはとても重要なことだと覚えておいてくださいね。

3. 自分に出来たことを証明する

ACの練習を進めて行くと「実感」や「自信」を求めたくなります。

ACが終わった後の振り返りも、「ここが出来なかった」「全然出来た気がしない」などネガネガに向かいがちです。

でもちょっと待って下さい。

本当に出来ていないのでしょうか？

「出来た実感がしない」＝「出来ていない」

ではありません。

出来た実感がしないけれども出来ていないという確信も実はない、というのが本当のところだと思います。

これは、脳の仕組みのせいなのです。

ACは右脳を使う割合が大きいということは、既にお話しました。

右脳全開の時に「実感」は感じる事が出来ないのです。

脳のことを知るのにお勧めなのが「**奇跡の脳**」という本です。

<http://amzn.to/2A8EqDE>

この本によると、

右脳全開の時、自分と外界との境界線が分からなくなるそうです。

この本の著者の場合、左脳内で出血が起きてしまい左脳の機能が著しく低下し、強制的に右脳全開の状態になられたのですが、

自分の身体がどこまでなのか分からなくなってしまったのだそうです。

そして、優しい言葉をかけながら看護してくれる人が、本当は自分に対して酷いことを想っているということが手に取るように分かったのだとか。

実はこれがテレパシーなのです。

ちょっと話が逸れてしまいましたが、**右脳が大きく開いている時、私たちは「今ACを出来ている」という「実感」を感じることが出来ません。**

自分がどこからどこまでかも分かっていない状態なわけですから当然ですよ。

出来ている実感さえあれば自信がつくのに…と思われている方も沢山いらっしゃると思います。

ですが…

もしACが出来るようになりたい方は、「出来ている実感」を感じることに執着を一旦手放して欲しいのです。

そしてその「実感」から自分が出来ていることへの「自信」を得ようとすることも諦めてください。

ACの自信は外側（自分以外）からしかつきません。

…というよりも、私は今まで自信満々でACをしている方を見たことがありません。

生まれつきACが出来るハイジさんでさえ

「これは〇〇かしら？」

「これは何かしら。こういうものが伝わってきたわ。」

と、ほとんど疑問形で伝えておられます。

ACは、ただただ自分が感じたもの、受け取ったものを言葉に直して伝えていく作業をしています。

そして飼い主さんから

「その通りです」

「私もそう思っていました」

「ACを受けて良かったです」

「ACの後、問題行動が止まりました」

というようなお言葉をいただいて初めてそれが少しずつ自信へと繋がっていくのです。

…が、これも言っていてすぐは「出来た！」って思うことが出来てとても嬉しいのですが、やがて時間が経つと左脳が優位になってきて

「先日は出来たのではなく、まぐれだったのでは？」

「今日は出来ないのでは？」

と結局不安が襲ってきます。

ただ、これらを繰り返していくことで、少しずつですが、ちゃんと自信はついていきます。

でもほんと少しずつなので、これは時間がかかるものだとは割り切ってください。

そこで、このコツの登場です。

AC（またはACの練習）が終わった後にやって頂きたいのが、「**自分に出来たことを証明する**」です。

この「自分に」というのは「自分の左脳に」という意味です。

【ACをする際は右脳を全開にする】

それは言い換えたら

【右脳全開になれていたらACが出来ている】

ということになります。

ACを終えた後に、振り返ってみて「右脳全開」になれていたなと確認出来たら、
「出来ていないんじゃないの？」と疑っている左脳に対して「出来ていた」と納得
させることが出来ますよね？

納得させることさえ出来れば左脳は不安を言って来なくなります。

「出来た」と認めてくれるのです。

「出来ていないところ」を粗探しするのではなく、「ほら、右脳全開に出来ていたからACも出来ているはずでしょ？」と左脳に証明をする努力をするのです。

敢えて「努力」と書きましたが、少なくとも私の場合はこれをするのにかなり「努力」が必要でした。

自然に任せていたらいつまでも実感による自信を求めてしまうからです。

でも左脳に対してぐっの音も出ない程の正論を叩きつけられるようになってから、「出来ていない」というところから解放されることが出来ました。

左脳を納得させる方法は色々ありますが、その中から今日は2つ程、お教えしますね。

1つ目はさっきも出て来ましたが、「スラスラ、ぺらぺら」は左脳でしたよね？

だから、そうでなかった場合、逆だった場合に・・・

「もどかしさを感じながら受け取ったのだから右脳全開になれていたということでしょ？」 という風に左脳側に言い聞かせて納得させることが出来ます。

2つ目は、人は自分が作り出した想像に対して驚いたり、「なるほど」と納得したりすることが出来ません。

だから動物から受け取った内容に驚いたり、納得したり、感心したりした場合は

「今、受け取ったビジョンを見て、どうして？ってすごく驚いたよね？だから右脳全開になれてるよ」と左脳側に言い聞かせて納得させるのです。

左脳は疑うことが仕事で、その疑う機能があるから私たちは正気を保つことが出来ます。

逆を言うと自然の成り行きに任せていたら、左脳はいつまでもすごい勢いで疑ってきてしまいます。

左脳とケンカするのではなく、左脳に「あ、ほんとだ。出来てるね」と納得させてあげられるよう毎回証拠を突き付けてあげましょう。

4. ACをしている時ってどんな感覚？

最後に、

コツではありませんが、私がACを勉強中に一番知りたかったことをお話したいと思います。

それは

「ACをしている時ってどんな感覚」になるのだろう？ということです。

自己紹介にも書きましたが、私はどんな感覚でAC出来るのかが分からなくて、でも知りたくて、知りたくて、変な夢まで見てしまいました。

その夢の中では、犬が普通に言葉を喋っていました(笑)

そして、「あ、こんなに分かりやすいのだ」と感動しました。

(同時に目が覚めてしまいました)

もちろん、この感覚は違います。

実際、出来るようになって分かったこと。

それは、「夢の中にいるような感覚」だということです。

これを読んでいるご自分を今、ちょっと意識してみてください。

スマホを持っている感じ
PCの画面を見ている感じ
椅子に座っている感覚
床に座っている感覚
自分は今ここにいるという感覚

そして、自分が自分であるという感覚

実はACをしている時は、これらの感覚はありません。

一番近いのは、目を開けたまま、瞬きも忘れてぼーっと考え事をする時に似ています。

何かに没頭して夢中になっている感覚も似ています。

あ、あと余談ですが、リーディングや、会話の最中に「声」を出すのはやめましょう。

一気に左脳に戻ってしまうからです。

そして、右脳に記憶することが出来ないから、受け取った内容をその場でメモをとりたくなりますが、メモを書く作業と、リーディングや会話は同時進行することが出来ません。

メモをとる場合はリーディングや会話がキリの良いところまで終わってからとるようにしましょう。

第11章

ACをする上で注意したいこと (その1)



1. ごあいさつ

第11章では、『ACをする上で注意したいこと』について説明していきますね。

書いているうちに長くなってしまいましたので2回に分けてお伝えしていきます。

2. 変なところと繋がらない

一番大切なことなので、一番最初に書きますね。

「変なところと繋がらない」

そもそも「変なところ」ってどこでしょうか？。

一言で言えば、「波動が低いところ」です。

動物とテレパシーを使ってお話をする…ということは、どうしても目に見えないスピ的（エネルギー的）なことが関わって来ます。

私はAC を勉強し始めるのとほぼ同時にスピについても学び始めたのですが、最初の頃に「目に見えない存在の恐ろしさ」を直接的ではないにしろ間近で体験し、浄化の大切さを嫌という程痛感しました。

テレビのニュースでこそ、報道されませんが、その辺のコンビニで普通にお買い物をしている人が、目に見えない存在に脅かされて暮らしていることもあるのだということ

それくらい身近なところで信じられないようなことが起きているということを知りました。

当時私は、目に見えない世界というのは「1つ」だと勝手に思っていたのですが、本当にピンからキリまで沢山の層に分かれていることをその時初めて知りました。

だから、DolphinRoseでは天使系でもAC系でも講座をする際には、「安全面」を一番に気をつけるようにしています。

お1人でワークをされても、変なところと繋がらないところまで見届けてご卒業していただいています。

漠然としていると怖いと思いますので、少し具体的に言いますと

いたずら目的や、暇で構って欲しくて、動物のふりをして波動の低い存在がこちらに直接アクセスしてきたりすることがあります。

動物たちと繋がる回路がきちんと出来てしまえば、まず間違っ繋がることはありませんが、繋がり始めて安定しない時期は繋がった感覚をまだ体が覚えていないので、恰好の餌食にされてしまう傾向にあります。

大抵の場合は、変なところに繋がってしまった場合はものすごい違和感を感じますのですぐに気づくことが出来る場合が多いものです。

しかし、低い波動の存在と繋がった場合繋がることが出来ているという自覚があるはっきりした感覚を感じるので、「これが繋がっている状態だ」と勘違いしてしまい、どんどん低いところと繋がりやすい体質になってしまうことがあります。

怖いことを書き並べてしまいましたが、**あること**を心がけていればまず波動が低いところと繋がる可能性は低くなりますので、そこまで怖がる必要はありません。

そのあることとは

1. 「基礎に忠実に、確実に繋がる事が出来るまでは手順通りに行く」
2. 「動物たちや飼い主さんへの愛を忘れないこと」
3. 「自分の波動を安定させること」

3番目の自分の波動を安定させるために出来ることは沢山ありますが、その中でも3つあげるとすると

1. 自分の波動を観察する客観的な目を持つ
2. 自己肯定、自己受容を強くする
3. 波動を安定させるツールやテクニックを習得する

私はACを学び始めてから10数年経ちますが、未だにこの「波動の安定」を保ち続けることが出来るように、日々、色々な学びと実践をしています。

「波動を安定させる」と、運も良くなりますし、幸せな出来事が増えて心も環境も豊かにもなります。

良いことづくしなので、ぜひこれらを心がけてみてくださいね。

3. 当たった・当たらないに拘らない

これは、ACを習得しようと思ったら誰でも1度は落ちる落とし穴ですね。

私も長い間落とし穴どころか、二度と抜けられないような底なし沼にはまっていましたよ。

今、ここにはまっている方たちにお伝えしたいことがあります。

それは、

当たった・当たらないに拘ることで、良いことなんて一つもないということです。

何も良いことがないなら、しない方がましですよ。

例えば、飼い主さんから違います…と言われたとしても、しばらくしてから「よく見てみたら合っていました」と言われることもしばしば・・・

当たったから凄い

当たらないからダメ

という思い込みを一旦外しましょう。

右脳をしっかり開いていたなら「当ててやろう」と思わなくても、正確な答えを受け取ることが出来ます。

普通に受け取った情報をお伝えするだけで勝手に、飼い主さん側からみたら「当たった」ことになる…ということが増えていきます。

「当たる」というのは結果であって、目的ではないのです。

しつこいようですが「当たった・当たらなかった」というジャッジは、ACが出来ている、出来ていないということを見分けるための方法ではないということを認識しましょう。

ACは当たったから100点はずれたから0点という極端なものではありません。

80点位で合格だと思ってください。

そして自分がACを始めた理由・目的を思い出し、それをぶれないで持ち続けて下さいね。



4. 自分の子が一番難しい

意外と知られていないことですが、ACは自分の子とコミュニケーションするということが一番難しいのです。

理由は2つあります。

1つ目はペットの情報を事前に多く知りすぎていること。

最初から情報が沢山あることで、先入観が入ってしまい、左脳が記憶からどんどん推理を始めてしまうからです。

そして2つ目は答えを聞くのが怖いという思いがあります。

自分の子とコミュニケーションをする場合、その質問は深刻な内容が多いものです。

何故ならそれ以外の軽い質問ならば、普段の生活の中で動きや表情などを見ることで、当たり前のように答えを感じ取ることが出来ているからです。

ACが出来なくても、ペットを飼っている人なら誰でも、ある程度のペットさんの気持ちは分かっています。

- お散歩が好き、または苦手
- 寂しがり屋
- 病院は嫌い
- 今、喉が渴いている
- 今、喜んでいる などなど・・・

飼い主さんはペットさんから伝わって来たものをちゃんと正確にキャッチしています。

そうすると、ACで聞いてみたいのは、そばにいても仕草を見ても表情を見ても答えを得ることが出来ない質問になります。

我が家には、殺処分当日に保健所から引き出されたトイプードルがいます。

日々の生活の中でACを行います、でも、未だに聞くことが出来ていないことがあります。

それは、「前の飼い主さんについて」

もし「前の飼い主さんのことが大好きで前のおうちに帰りたい」と言われるのが正直怖かったりします。

この子は、我が家に来た当時はガリガリに痩せていて、栄養失調で耳には毛が生えていませんでした。

保健所に収容された当時はリードをつけっぱなしの状態で保護されたそうです。

このような状態にまでなってしまった経緯も、もし知ったならば自分が耐えられないような気がして聞くことが出来ていません。

表面上は聞きたいけれども、心の奥底で「聞くのが怖い」と思っていると、質問自体が動物側に伝わらなくなってしまう。

世界的に有名なアニマルコミュニケーターの方でも、自分の子を安楽死させるべきかどうかという深刻な内容については、何人ものコミュニケーターを自宅に呼んで何を言っているのか聞いてもらうそうです。

自分では怖くて平常心を保つことが出来ないからです。

ACをする上でこの平常心は不可欠です。

もし無事に繋がって質問出来たとしても、今度は答えを受け取る・・・ということが出来ません。

自分の心が拒否して、耳を塞いでしまうからです。

自分の家の子とお話する際は、最初は、他愛もない話から始めてみて下さいね。

私の場合は、毎日のお散歩中に練習を兼ねて何気ない会話をするように心がけています。

「今、何の匂いを嗅いでいるの？」

「お散歩は楽しい？」

「今日はお天気が良くて気持ちが良いね」

時々こちらが想像もしない答えが返って来て、

「ふふっ」

と思わず笑ってしまい、周りから見たらとても怪しい人になっていますが・・・。

そして、会話だけでなく「リンク（共感）」の練習もします。

その子が感じている足の裏の感触

嗅いでいる匂い

聞こえている音

そうすることで、自分の子と繋がる感覚を、繋がるのが当たり前と感じられるくらい、自分の身体にたっぷりと教え込むのです。

その結果意識することなく、繋がろうと思ったときに抵抗なくスムーズに自分の子と繋がれるようになります。

5. モラルを守る

ACでは、テレパシーを使います。

そして情報を読み取るなど、エネルギー的に動物たちばかりでなく飼い主さんたちにも色々
と働きかけることになります。

当たり前なのですが、現在日本ではエネルギーでの侵害について、明確な法律が存在しませ
ん。

エネルギーに関しては、世間一般に「これ」といった「モラル（倫理）」が存在し
ないということなんですね。

でも、エネルギーは場合によっては毒にも、薬にもなります。

取り扱い注意の劇薬物だと認識しておいて下さいね。

劇薬物の取り扱いについては日本では「毒物劇物取扱責任者」という国家資格が存在しま
す。

でもACは、国家資格ではありません。

ある日突然「私はアニマルコミュニケーターです」と名乗ってしまえば、その日からプロの
アニマルコミュニケーターとして活動することが可能です。

ACをする際は、こういったことも踏まえて、自分の中できちんと「モラル」を確立
しておく必要があります。

そしていつもその原点に立ち返る、意識するといった癖をつけておきましょう。

私がACを学び始めた10数年前と比べて、今は、その数百倍、もしかしたら数千倍にアニマルコミュニケーター人口が増えました。

それと共に、耳に入って来る機会が増えているのがACでのトラブルです。

一部のモラルを守らないコミュニケーターさんがいることでAC全体の世間への印象が悪くなってしまうです。

海外の方のAC関係の本を読むと、この「モラル」の大切さを強く語っている方たちが多いのですが、恐らく強く書かなくてはいけないくらいトラブルも多いということなのでしょう。

コミュニケーターさんたちそれぞれに、まず独自のモラルを決められていて、それを守る大切さを訴えています。

自分なりのモラルと言っても、急に浮かばない・・・という場合は、最低でも下記
のことは守るようにしましょう。

- ◆ ACでの会話の中身はプライバシー侵害にあたるので口外しない。
- ◆ ACで受け取った情報を飼い主さんに偽って伝えない。
- ◆ 医療行為にあたることおよび医療行為に影響があることは行わない。
- ◆ リーディングで得た情報は飼い主さん以外には許可がない限りは伝えない。
- ◆ ACは許可を得て行ったとしても、「エネルギーの侵害」に代わりはないので節度を守って、必要最低限で侵入する。
- ◆ 動物たちに「敬意」を払って行う。
- ◆ 動物たち、飼い主さんたちに及ぼすACの影響力を自覚して行う。
- ◆ 動物たち、飼い主さんたち双方に出来ない約束をしない。また、期待を持たせるようなことをしない。

当たり前のことばかり…と思われたかもしれませんが、ACでの経験が増えて来たり、依頼が増えてくると、この辺りが見えなくなってしまうものです。

文章で書き出して見える化して、いつでも見られるようにしておくことをお勧めします。

そして、経験を重ねられながら、項目を自分なりに変えたり、増やしたりしていきましょう。

第12章

ACをする上で注意したいこと (その2)



1. ごあいさつ

第12章では、前回からの続きで『ACをする上で注意したいこと（その2）』になります。

2. 伝える時にやってはいけないこと

ACの練習を始めたばかりのときに、ついついやってしまいがちな落とし穴についてお話します。

飼い主さんへの伝え方の落とし穴は次の3つになります。

1. 自信がないので言わないでおく
2. 怖いので大きな範囲で伝える
3. 受け取ったものを伝える前に飼い主に質問をする

それでは1つ1つ説明していきますね。

1. 自信がないので言わないでおく

動物たちからふと何か受け取ったような気がしたのに

「まさかね」

「そんなことあるわけないよね」

と、伝える前に自分で打ち消してしまう…

これは

ACを練習したことがある人なら、誰でも1度は経験したことがあるのではないでしょう
うか？

そして、飼い主さんとの会話の中で、後でその通りのことが出て来て「あ！私もさっきそれを受け取りました！」と言ってももう遅いのですよね。

飼い主さんから答えを聞いてから、「それ私も受け取っていました！」とカミングアウトする行為は「後出しじゃんけん」にしかならないのです。

こんな悔しいことはありません。

私も過去に何度も悔しい思いをしました。

そして、こんなに悔しい思いをするくらいなら、感じたこと、受け取ったことは訳が分からなくても、自信がなくても言ってしまうおう！と少しずつ言えるようになっていきました。

自信がないことを伝える怖さと、せっかく正確に受け取れていたのに、後出しじゃんけんと思われしまう悔しさを天秤にかけてみましょう…

私たちは普段、自信がないことを言うことに慣れていません。

だからハードルが高く感じるかもしれませんが…

そんな時は「保険の言葉」を使いましょう。

「よく分からないんですけどこんなイメージが来ました」

「意味不明ですが、この言葉を感じました」

自分は訳が分からないという状態を、正直に受け取ったものと一緒に伝えるのです。

この前置きがあることで、だんだんと受け取ったことすべてを伝えられるようになりますよ。

2. 怖いので大きな範囲で伝える

これは、
ピンポイントに情報を受け取ったのに、外れることが怖くてジャンルを大きく言ってしまうという落とし穴です。

言ったことが「外れる」

↑この状態、とても怖く感じませんか？

もし、お金をいただいてお仕事にされているなら尚更ですよ？。

無意識に自分を守るために、あまりにもピンポイントな情報を受け取った時に、大きく範囲をぼかして飼い主さんに伝えるのです。

ACではありませんが、昔、お相手の過去をリーディングをしている時に「路面電車」のビジョンを受け取りました。

最近は限られた場所でしか走っていない、いわゆる「チンチン電車」と呼ばれているあの乗り物です。

困みに、リーディングしているお相手のお住まいを先に情報として知っていたのですが、その地域では路面電車が走っていないことが分かっていました。

すると「路面電車」とピンポイントで伝えることが怖くなり、「バスみたいな、電車みたいな、いわゆる大きな乗り物が見えて…」とジャンルを大きくしてお相手にお伝えしたところ、お相手が小さいころ住んでいた家のすぐ前に路面電車の駅があったのだそうです。

・・・（汗）

はい、この時の私の心の中は

「(ノ ㇏)・°・。」

という状態でした。

先程の「自信がなくて伝えない」よりも、更に悔しい思いを味わいます。

最後には「乗り物」とまで広げていたのに「路面電車って分かってました」なんて説明を後からしたとして誰が信じてくれるのでしょうか(ノ ㇏)・°・。

皆さんはこんな思いをしないためにも、ピンポイントで伝わってきたものは怖がらずに飼い主さんにちゃんと伝えましょうね。

3. 受け取ったものを伝える前に飼い主に質問をする

これは、ペットさんから何かを漠然と受け取ったのだけれども、飼い主さんに伝えるにはもう少し詳しく検討が必要なもの

・・・例えば

ペットさんに好きなものは何？と質問をして

丸くて赤いもの・・・という情報を受け取ったのだけれども、それが食べ物なのか、おもちゃなのか、はたまた全然違うものなのか…分からなかったとします。

こういう場合、それ以上情報が来ない時は、

「丸くて赤いもののビジョンを受け取りました」

と正直に飼い主さんに伝えるのが正解です。

しかし、自分が受け取ったものが何なのか確証を掴んでから飼い主さんに伝えたいという衝動にかられてしまいます。

伝える前に「合っている」という確信を得たくなるのです。

そこでやってしまいがちなのが、こちらが受け取った情報を言う前に先に「飼い主さんに質問をしてしまう」ことです。

丸くて赤いものを受け取った時に、まずは左脳で勝手に推理をします。

好きなものは何？って聞いた時の答えなのだから、これはきっと「おもちゃ」なんじゃないかな？

そしてこの推理が合っているのか確かめたいので、飼い主さんに次のような少し遠まわしな質問をしてしまうのです。

「この子は、普段ボールで遊んだりしますか？」

これは、「丸くて赤いもの」に対しての自分の推理「おもちゃのボール」が当たっているかどうか先に確証を得ようとしているところです。

で、この質問の本当の答えが「ミニトマト」だったとします。

そうすると本当は自分が受け取った「丸くて赤い」は正解なわけです。

でも「ボールで遊びますか？」と聞いて、「いいえ、遊びませんよ」と言われてしまったら、周りから見た場合これって「はずれ」なことになってしまいます。

もちろん、後から飼い主さんの誤解は解けるかもしれませんが、その時に「違います」と言われたショックはずっと残ります。

勿体ないですね。

場数を踏んでいけば、何度かペットさんにアプローチして確認をし、最終的に「ミニトマト」と確定するところまで行くことも可能です。

ですが、最初からそこを目指さないようにして下さい。

まずは自分が受け取ったものを漠然とした状態だったとしても、そのまま正直に伝えることを常に心がけましょう。

3. 言葉選びに注意しましょう

「飼い主さん」と「ペットさん」この2つのエネルギーの間に通訳として入るのが「アニマルコミュニケーター」です。

特に飼い主さん側は、アニマルコミュニケーターから伝えられた言葉だけが頼りです。

でも、同じことを表していたとしても、意味合いが全然違って聞こえることがありますよね。

「出来たらやめて欲しい」

「ほんとはやめて欲しい」

「お願いだからやめて欲しい」

同じ「やめて欲しい」でもニュアンスはそれぞれこんなにも違います。

ACでお伝えする言葉は、1つ1つに「責任」を伴っているということを自覚しましょう。

言葉選びは本当に本当に大切です。

だからと言って飼い主さんを喜ばそうと「嘘」をつくのはもっといけません。

ACで受け取ったことを伝えて、日常生活に戻った時、飼い主さんとペットさんとの関係がどうなっていくのか…

お友達が大好きな異性に告白するのを、自分が一緒に立ち会って代わりに言ってあげている。

このくらいの「言葉のチョイスを間違えてはいけない」緊迫した状態を想定して、慎重に言葉を伝えるようにしてみましょう。

ACをするということは、そのくらい責任重大なポジションにいるということを、常に忘れないで下さいね。

4. 亡くなった子と話す場合

ACを学ばれている方で、亡くなった子とお話したいという方も多いのではないのでしょうか？

- 生きている時にもっとこうしてあげたかった
- 他にももっとしてあげられることがあったのではないか
- 亡くなる時に苦しい思いをしたのではないか？
- 亡くなる時にそばにいてあげられなかった

など、大切なペットさんを亡くされて、生前の後悔がないという方はまずいないと思います。

生前にペットさんに伝えなかったこと。

ペットさんから聞きたかったこと。

亡くなられた後でもそれをACでお伝えすることができます。

繋がり方は、普段のACと大きく変わることはありません。

ただ、少しだけ繋がりにくさを感じるかもしれません。

それは、ただ単に亡くなった子に繋がることに慣れていないからだと思ってください。

日頃、生きている子とのACの練習だけをしていたら尚更です。

例えば・・・

ACは猫ちゃんばかりとお話していて、いきなりワンちゃんとお話をするとき、一瞬繋がりにくさを感じることがあります。

でもこの繋がりにくさも何度か繰り返していれば次第に慣れていきます。

また、小型犬ばかりとお話していて、いきなり大型犬とお話をしたとしても、やはり同じような繋がりにくさを感じることがあります。

私たちは動物と繋がる際、ラジオのチューニングをするようにその子の「チャンネル」に自分の波動を合わせて行きます。

ただチューニングをするだけでなくラジオのFMからAMに切り替えるようなイメージをしてみたらうと分かりやすいかもしれません。

亡くなっているからといって、あまり構えたりせずいつも通りにお話をされて下さいね。

また、亡くなってからどのくらいまでAC可能ですか？というご質問をよくいただきますが、

基本、何年経っていても大丈夫だと思ってください。

私たち人間もそうですが、輪廻転生を繰り返している魂に、その時、その時の過去世の記憶がいつまでもちゃんと消えずに残っています。

その部分とアクセスしますので、例えもう生まれ変わっていたとしても、当時のその容姿、性格、記憶のままにお話することは可能です。

生まれ変わりの年数については所説ありますが、私の感覚では平均4-5年くらいです。

※ただ、亡くなられてから10年、20年と、かなりの年数が経っている場合には魂が成長していて「達観」していることがあります。

その場合、ペットさんが話す内容が少しスピ的になったりします。

5. 過去世・生まれ変わりについて

ACをしていると、時々「過去世」「生まれ変わり」について扱うことがあります。

ただこれは、本当に「デリケート」な部分になりますので、取り扱いには細心の注意が必要になります。

過去世、生まれ変わりへの捉え方が、人それぞれ全く違います。

過去世や生まれ変わりについての知識も必要になりますし、伝え方を間違えると飼い主さんに新たな執着を与えてしまう原因にもなります。

場合によっては飼い主さんの運命をも変えてしまうことになりますから注意が必要です。

責任も大きくなりますので、最初のうちは取り扱わないことをお勧めします。

そして、しっかりとスピリチュアルを学ばれてからその部分に触れていくようにしましょう。



第13章

ACを勉強中の方が
抱える悩みと対策



1. ごあいさつ

第13章では、『ACを勉強中の方が抱える悩みと対策』についてお話していきます。

…と、その前に…

この講座もこの章を入れて残すところ、あと2章となりました。

次の第14章で終了となります。

10数回に渡って、ACについてお話してきましたが、とてもこの回数でACの全てを語ることは出来ません。

このE-BOOKが終了すると自動的に、DolphinRoseが週2回発行しているメルマガに移行します。

ここで書ききれなかったことは引き続きメルマガでお伝えしていきます。

解約もワンクリックで出来ますのでご安心下さい。

DolphinRoseでは、イベントやセミナーなどは、メルマガ会員さん限定で募集することが多いので、継続してお読みいただけたら嬉しいです(*^-^*)

それでは、今日の本題に入っていきたいと思います。

AC練習中の方が抱えるお悩みについてお話していきますが、今までの講座の「復習」も兼ねてお伝えすることになります。

今まで学んだことを思い出しながら、読まれてみてくださいね。

2. 出来ている気がしない

これはACの練習をしていた時に私がよく思っていたことです。

飼い主さんが目の前にいて、ワクワク待って下さっているのに
もしくは、自分の家の子で練習する場合も、自分からの問いかけに対して

「しーん・・・」

「あれ？返事が来ない」

「何も感じない」

となった時に焦りますよね？。

もし・・・セミナーやレッスンを受講した時に「出来た（ような）感じ」を一度でも味わえていたならば「どうして何も感じないの？」とパニックになってしまう前に、以下のことを確認するようにしましょう。

1. 自分の波動が安定しているか？

動物たちと繋がるためには、何よりも「**波動の安定**」が大切です。

今自分が力を入れていたり、緊張していたり、動揺していないかどうか？

していると気づいたら、とにかく「大きく深呼吸」しましょう。

途中まで進んでいたとしても最初から手順をやり直してみましょう。

また、その時の体調は大きく影響します。

ACの練習は身体の調子が良い時に行うようにしましょう。

余談ですが、「眠い時に行う」のは意外とうまく行ったりしますのでお勧めです。

頭がすっきり冴えていると左脳が張り切りますので、中々右脳全開にならないからです。

眠い時に行うと、そのまま寝てしまうこともあると思いますが、「動物とお話ができる。」というワクワクとしたモチベーションを持っていると、意外と寝なくて済みますし、同じ眠いでも朝の寝起きのぼーっとしているときにするのもオススメです。

2. 繋がる前に話しかけていないか？

ACは電話のようなものでしたよね？

受話器を上げて、ダイヤルをプッシュする前に「もしもし」と言ってしまっていないか、今一度 確認をしましょう。

きちんと動物たちに繋がって動物たちを感じられたら、エネルギーで繋がるころまでは出ていますので、会話に進んでいきましょう。

3. 実際にあった時のオーラを出せているか？

- ◆ 大好きな芸能人をテレビで見ている時に出している自分のエネルギー
- ◆ 大好きな芸能人と生で会った時に出すであろう自分のエネルギー

きっと全然違いますよね。

動物たちの写真を前に、写真だからと自分が油断してしまっていないか、今一度確認しましょう。

4. 質問が警察の取り調べになっていないか？

知らない人から無表情でプライベートなことを質問されたら、誰だって嫌だし、答えたくありません。

でもこれ、ACでは意外とやっちゃっていることが多いんです。

「いい加減に吐け！」

と、刑事ドラマさながら問い詰めるようなエネルギーになってしまっていないか、今一度見直してみましょう。



そして、言葉だけを棒読みの質問は、そもそも相手に質問として伝わっていません。

「どうして？」と本気でその質問に興味を持っていることが大切です。

ここで勘違いしてしまいがちですが、「本気」は、力を入れるという意味ではありません。
AC中は、とにかく体に力を入れないように心がけます。

肉体と頭は「ぼえーっ」という状態になっていて下さいね。

5. 本気で仲良くなろうと思っているか？

また「本気」という言葉が出て来ましたが・・・

「ACは嘘が通用しない」
テレパシーは本音と本音のやりとりです。

「本当にその子と仲良くなりたい」と、心の底から思っているかどうか自分に聞いてみましょう。

もし、そう思っていなかったら無理やりその子に「興味」を持ちましょう。

人間の2-3歳児の子とどうしても二人っきりで話さなければならなくなった時、必死でその子が気に入るような話題を探すと思います。

洋服、持ち物、家族のこと、幼稚園のこと・・・

ACも一緒。

自分がその子に「興味」が持てるところを探してみましょう。

3. 自信がない

ACを習得されて、練習の数もこなしているのにアニマルコミュニケーターとしてデビュー出来ません

という方が数多くいらっしゃいます。

その方たちに共通しているお悩みがこの「自信がない」というものです。

**ACがちゃんと出来ている自信がついたらデビューしよう、お金をいただく
と思っておられることと思います。**

ACはTVの影響もあり、世間には「不思議な力」として受け取られていることが多く

◆ 飼い主しか知らないことを当ててもらえる

◆ うちの子のことなら何でも分かるはず

などと思われていることもしばしば

アニマルコミュニケーターにとってのハードルは上がる一方です。

そんな飼い主さんたちの期待に応えなくては・・・と思うと、「自信がついてからデビューしよう」と思ってしまうのも仕方がないことだと思えます。

私も、出来るようになって、2年間は世間に知らせず黙ってましたし・・・。

でも、まずは一旦、「自信がついてからデビューしよう」「自信さえあれば・・・」という考えから離れましょう。

大切なのは

自分なりの「ACが出来ているという状態の基準」を決めて、それに達しているかどうか 毎回チェックする。

ということです。

皆さんは、ご自分でどういう時に「ACが出来た」って思いますか？

「当たった」「外れた」が判断の基準でしょうか？

自分の中で「ACが出来ている基準」をどこに置いているのか、書き出してみましょう。

「手順通り、基本通りに進められた」

「右脳を全開にすることが出来た」

「自分も会話を楽しむことが出来た」

「会話に夢中になることが出来た」

「その子が会話する前よりもかわいと思えた」

「仲良くなることが出来た」

「飼い主さんが喜んでくれた」

思いつく限り書いてみて下さいね。

そして、ACの練習の後の振り返りで、これらが出来ていたかどうかを毎回チェックしてみましょう。

感情的ではなく、客観的に振り返りをしてみてください。

「言い当てる」

これは、意識して当てにいくものではなく、楽しく会話している結果「当たってしまう」ものなのです。

「当てる」ことは目的ではなく結果です。

「当たる」という言葉がとても特別感がありますので、
特別なことをしなくては・・・
すごいことをしなくては・・・
と、思ってしまうかもしれませんが、
この講座で学んでいただいたように、ACは不思議なものではありません。

その時、その時に自分が使う能力を理解しながら、基本に忠実に手順を踏んで行えば誰にでも出来るものです。

ACが上達してくれば、その過程に「言い当てる」ということが「自然に」増えてきます。

それでもくじけそうになった時は、あなたが、ACを習得しようと思ったきっかけを思い出してみてください。

「当てなくちゃ」と苦しむために始めたわけではないですよね？

ACは、動物と仲良くなることが出来たり意外な答えに驚いたり、感動したり…本来は、とても楽しいものです。

そしてACは、飼い主さんとペットさんの絆を深くしてくれる素晴らしいものです。

あなたがACをする目的は何ですか？

4. 練習相手がいない

これも良く聞く悩みです。

何を隠そう私が、10年もの長い間悩んでいたことでもあります。

当時の私は練習相手が沢山いればきっと上達するのに・・・
と思っていました。

確かに実践練習は、即、経験値になりますので、上達するためには必要です。

でも、ただ闇雲に実践練習だけしたとしても上達することは出来ません。

そして、練習相手がいなくてもAC上達のために出来ることは他にも沢山あります。

それは、ACのための土台作りです。

- ◆ 五感を鍛えること
- ◆ 右脳を鍛えること
- ◆ 右脳と左脳の連携を鍛えること
- ◆ 波動を整えること
- ◆ 自己受容・自己肯定を意識すること

これらを日ごろから意識して取り組んでおくことで、
いざ実践・・・となった時に、スルッとスムーズに出来たりするようになります。
プロ野球選手も、毎日練習試合だけをしているわけではありません。

天才と言われている人たちやあのイチローでさえも、毎日基礎練習に励んでいます。

あとは、ペットを飼っているという方に出会った時に、自分も動物が好きだということを伝えて片っ端から写真を見せてもらいましょう。

ペットを飼っている方に「写真を見せてください」とお願いをして、嫌な印象を受ける飼い主さんはまずいらっやしません。

そしてリーディング（情報を読み取る）だけしてみて、何か受け取れたらそれを飼い主さんに「〇〇なんですか？」と質問してみましょう。

この時に「私はACが出来る」とか「ACの練習をしているんです」というカミングアウトは一切不要です。

読み取った内容に対して「違うよ」と言われたら「そうなんですねー」で終了すれば自分も深い傷を負わずに済みます(笑)

ただ、注意して欲しいのは、飼い主さんの許可なく深い「会話」をしてはいけません。

ペットさんのエネルギーの領域を犯さずに、あくまで外からリーディングするだけです。

ここは徹底して守るようにして下さいね。

第14章

最後に・・・



1. ごあいさつ

たくさん時間をかけて読んでいただいたこの E-bookも、この章で最後となります。

途中でやめることなく最後まで読んでいただいて、本当に本当にありがとうございました
m(____)m

皆さんのACの学びに少しでもお役に立てていたら嬉しいです。

最後に皆さんにお伝えしておきたいことがあります。

それは、アニマルコミュニケーションは練習の仕方を間違えなければ、自分があきらめてしまわない限り必ずいつかできるようになるということです。

でもかかる時間には個人差があります。

そしてあまりにも時間がかかってしまって、できるようになる前に諦めてしまう人たちもたくさん見てきました。

現に私も2年間ほどすっかり諦めてしまっていた時期がありました。

私が15年以上アニマルコミュニケーションを学び探求してきて、そして教えるという立場でレッスンをしてきて、アニマルコミュニケーションを習得するのに必要なことが身を持って段々とわかってきました。

今私がたどり着いているアニマルコミュニケーションができるようになるための1番の近道は今までお話してきた内容とも被りますが

1. 論理的にアニマルコミュニケーションの仕組みをしっかりと頭で理解する。
2. 右脳を使う感覚をしっかりと体に覚えさせるために適切なトレーニングをする。

そして

3. 動物とエネルギーでつながるための土台作りをする。

です。

この3つを取りこぼさずにやっていれば、諦めてしまうくらいの長い時間をかけなくてもアニマルコミュニケーションができるようになります。

DolphinRoseでご提供している「アニマルコミュニケーション・トレーニングプログラム」ではこれら3つを組み入れたカリキュラムになっています。

最初にしっかりと土台作りをして、アニマルコミュニケーションの仕組みを頭で理解していただき、右脳を鍛えるトレーニングを一緒にして、

出来ているか出来ていないのか、またどこをどのようにしたら出来るようになるのかお伝えしながらレッスンしてきます。

「アニマルコミュニケーション・トレーニングプログラム」の詳細につきましては下記HPよりご覧になられてみてください。

<https://ackouza.jimdofree.com/>

このE-bookでも簡単にカリキュラムをご説明させていただきますね。

2. トレーニングプログラムカリキュラム

◆リアスピ・セルフマネジメントコース（自分に繋がる土台づくり） 7回/90分

1. 自分に矢印を向ける
2. インナーチャイルドを統合する→ワークの習得
3. スピリチュアル、エネルギーの基礎知識

◆ACレッスン 7回/90分

1. カードを使った右脳の特訓 2回/90分
2. フォトリディング 2回/90分
3. チャネリング（会話） 2回/90分
4. 自分の子と話す、亡くなった子と話す 1回/90分

この他に

★動画講座などの資料

（この世の仕組みについて、魂について、お話の手順・流れ、左脳と右脳、インナーチャイルド等）

★毎日やっていただくトレーニング

★毎回宿題あり

期間は約4-6ヶ月を予定しております。

◆料金

通常20万円のところ

2021年4月までにお申し込みの方に限り18万円とさせていただきます。

詳細についてはこちらをご覧ください↓↓

<https://ackouza.jimdofree.com/>

3. よくあるご質問

Q. ペットを飼っていないのですが受講することは出来ますか？

A. はい。大丈夫です。
教材はこちらでご用意しておりますので安心してご受講下さい。

Q. 小さい子がいて、予定が不安定なのですがレッスンのドタキャンは可能ですか？

A. はい。大丈夫です。
メールにてご連絡をいただければ開始時間ギリギリでのドタキャンでも OK です。
その場合、次回のご予約を取り直していただく形になります。

Q. 土日しか時間がないのですが・・・

A. 実践レッスンは全部の曜日に対応しておりますのでご安心ください。
実践レッスンの時間帯は
◆ 10：00 から
◆ 13：00 から
◆ 20：00 から
の3種類です。

Q. 出来るようになるか不安です。

A. 一足先にご卒業されご活躍されている先輩たちも、皆さん最初は不安を抱えてご入学されました。
最後は笑顔でご卒業出来るようしっかりサポートしてまいります。

ご卒業後も無料の練習会でフォローさせていただきますし、メールでのご質問はいつでもお受けしております。

それでも不安な場合は、今回のこのE-bookを何度も読み返してみてくださいね。

その他講座についてのご質問がありましたら、下記まで直接メールでご質問ください。

morumoka@yahoo.co.jp

内容やご質問、不安な点などオンラインで直接お聞きになりたい方のための「30 分無料説明」をご用意しております。

ご希望の方は下記よりご予約ください↓↓

[https://smart.reservestock.jp/reserve_form/reserveable_date_times/6715?course=22258&options=2540 &selected_service_provider=6715](https://smart.reservestock.jp/reserve_form/reserveable_date_times/6715?course=22258&options=2540&selected_service_provider=6715)

4. 今後送られるメルマガについて

ここまでお読みいただきまして本当にありがとうございました。

このE-bookにご登録いただいた皆さまには自動的にDolphinRoseが週2回発行している無料メルマガ「ゆうのDolphinRose通信」の配信が始まります。

このE-book内で語りきれなかったACのコツや気づきなどのサポート、メルマガ会員さまだけの限定イベントや単発講座、そしてご卒業生さま向けの練習会のご案内などをお伝えしていきますのでぜひご覧になられてみてください。

（メルマガがご不要な場合は送られてきたメルマガの本文冒頭にある解約手続きのURLを1クリックするだけで解約できるようになっております。）

それでは皆さまがこれから、かわいい動物たちと楽しく日々アニマルコミュニケーションが出来ますよう心からお祈りしています。



※本教材、および収録されているコンテンツは、著作権、知的財産権によって保護されております。

教材に含まれているコンテンツを、 その一部でも、書面による許可(ライセンス)なく複製、

改変するなどして、またあらゆる データ蓄積手段により複製し、

オークションや インターネット上だけでなく、転売、転 載、配布等、いかなる手段においても、

一般に提供することを禁止します。